

いいだ未来デザイン2028戦略計画

【2023(令和5)年度】

長野県飯田市
2023(令和5)年4月

目次

いいだ未来デザイン2028中期計画の「年度戦略」について	1
市の人口について	1
2020(令和2)年国勢調査の分析から	6
戦略の推進について	7
SDGsの推進について	7
1 稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる	9
1-① 地域産業の育成による高付加価値化	
1-② 地域経済循環の推進	
1-③ 事業継続と新たなビジネスモデルの創出、事業再構築、起業家の育成	
1-④ 地域産業を支える担い手・企業人材の育成・確保	
1-⑤ 地域に根差した農林業の推進	
1-⑥ アフターコロナの観光産業の推進	
1-⑦ 企業誘致、オフィス誘致の推進	
2 飯田の魅力を発信し、つなげる人を増やし、飯田市への人の流れをつくる	15
2-① 市民・事業者参加型による飯田の魅力発信	
2-② 中心市街地の賑わいのある街づくり	
2-③ 「結い」による移住定住の推進と関係人口の創出・拡大	
3 “結いの心”に根ざす教育を実践し、豊かな心とリニア時代を生きる力を育む	19
3-① 学力保障・学力の向上	
3-② 温かな人間関係づくりと誰ひとり取り残さない教育や支援	
3-③ 飯田コミュニティスクールを活かした地域・学校・家庭での教育の推進	
3-④ 食育の推進	
3-⑤ 子どもの読書活動の推進	
3-⑥ 児童の放課後の居場所づくり	
3-⑦ 少子化における児童生徒の教育環境の充実に向けた取組	
3-⑧ 防犯・通学路の安全対策・環境整備・気候変動適応	
4 豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む	25
4-① 住民の主体的な学びあいの支援	
4-② 子どもの主体性、創造性、社会性、協調性、課題解決力などを育む学習の展開	
4-③ 飯田の価値と魅力の学びと発信	
4-④ 伝統文化、文化財の保存・継承・活用の推進	
4-⑤ 社会教育施設の整備、サービス向上	
4-⑥ 大学の機能を活かした学びの推進と「大学のあるまち」の実現に向けた取組	
5 文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる	31
5-① 「人形劇のまちづくり」の推進	
5-② 文化・芸術の鑑賞や市民の主体的な文化芸術活動の展開を支援	
5-③ 新たな文化芸術活動の拠点づくり	
5-④ 市民のスポーツ活動・コミュニティづくりの支援、スポーツイベントの開催	
5-⑤ 競技スポーツ人口の拡大と競技志向の向上	
5-⑥ 学校部活動の地域移行を見据えた体制づくり	
5-⑦ スポーツ施設の整備、サービス向上	

6	結婚・出産・子育ての希望をかなえる	35
	6-① 結婚の希望をかなえる	
	6-② 出産の希望をかなえる	
	6-③ 孤立を防ぎ、子育ての希望をかなえる	
	6-④ 飯田の持ち味を活かし、豊かな育ちを支える	
7	「市民総健康」と「生涯現役」をめざす	39
	7-① 新型コロナウイルス感染症対策の推進	
	7-② 働き盛り世代からの健康づくり	
	7-③ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施	
	7-④ 介護予防(重度化防止)の推進と介護人材の確保	
8	共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる	43
	8-① 地域福祉活動の推進	
	8-② 複合化・複雑化した課題解決に向けた重層的支援体制の構築	
	8-③ 障がい者の社会参加の推進	
9	20地区が輝く活き活きとした地域づくりを地域主体に進める	45
	9-① 「みんなのことはみんなでやる」地域づくりを地区と共に進めます	
	9-② 住んでよしの地域づくりで田園回帰の風を捉えます	
	9-③ みんなの力で活気ある中山間地域をつくる	
10	個性を尊重し、多様な価値観を認め合い、活動の場を広げる	49
	10-① 市民活動の情報の収集・発信の拠点づくりと、市民活動への支援	
	10-② 一人ひとりの個性が輝き、自分らしく安心して暮らせる地域づくり	
	10-③ 国籍や文化等の多様性を認め合い、外国人住民と共生する地域づくり	
11	地球環境への配慮が当たり前の暮らしとまちづくりの推進	51
	11-① 環境問題を知り、学び、実践に移す	
	11-② 家計や事業経営を助ける省エネ型への転換	
	11-③ 地域産再生可能エネルギーの創出と活用	
	11-④ ごみの3R(減量・再使用・再資源化)を地域ぐるみで推進	
12	災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る	53
	12-① 災害情報伝達手段の多様化と避難の実効性を高める	
	12-② 災害対策本部の機能強化を図り、より実践的な防災訓練の実施	
	12-③ 飯田市第12次消防力(消防団)整備計画に基づく消防力の維持・向上	
	12-④ 通学路生活道路の安全確保と高齢者人身交通事故の抑止	
	12-⑤ 災害時にも都市機能が維持でき、暮らしを支える社会基盤の戦略的強靱化	
13	リニア・三遠南信時代を支える都市基盤を整備する	57
	13-① リニア・三遠南信時代を見据えた適正な土地利用の推進と良好な景観の育成	
	13-② リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の整備効果を地域振興に活かす	
	13-③ リニアの2次交通及び持続可能な地域公共交通の実現と、新しい技術を活用したスマートモビリティの実装	
	13-④ 市民サービスを向上するデジタル化の推進	

いいだ未来デザイン 2028 中期計画の「年度戦略」について

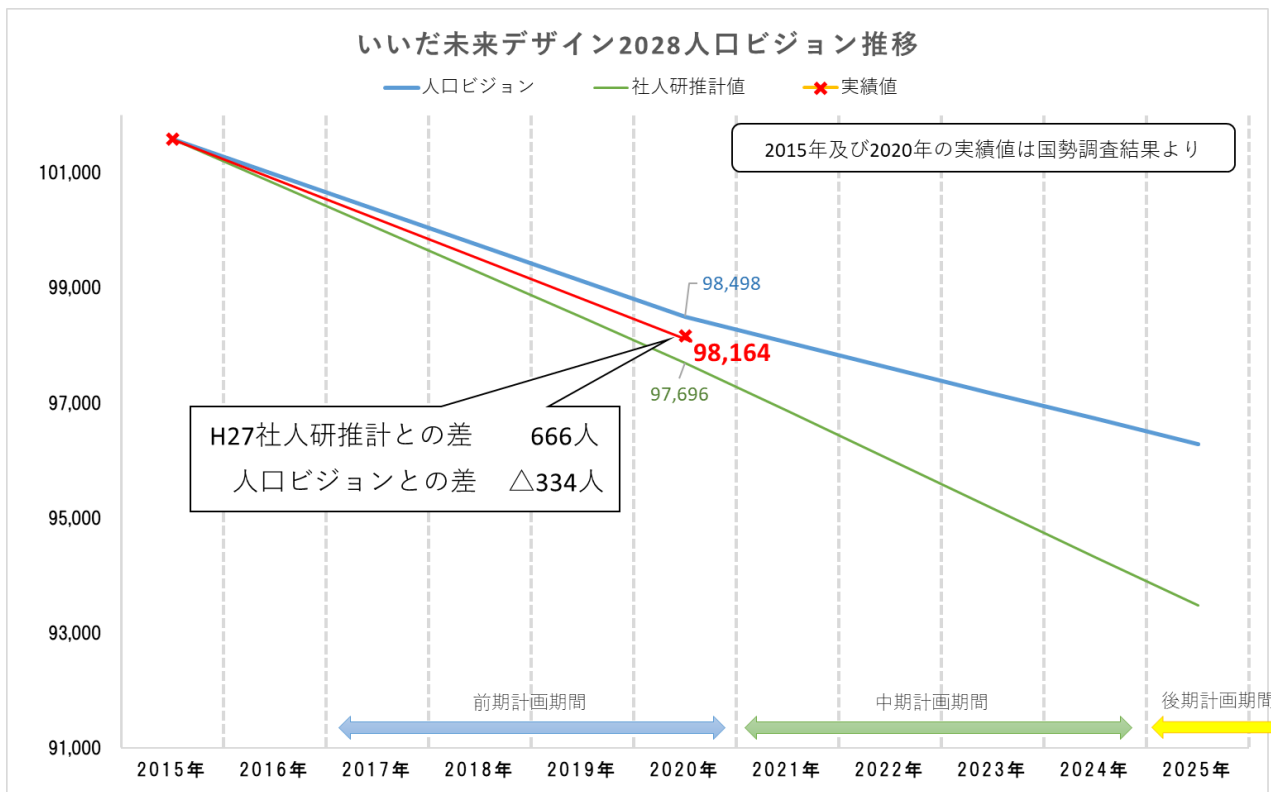
年度戦略は、中期計画 4 年間（2021～2024 年度）の基本的方向に基づき、重点的に取り組むテーマとして掲げた 13 の基本目標それぞれの具体的な取組です。また、取組の進捗や社会情勢に随時対応し有効性を高めるため、戦略計画は年度ごとに見直していきます。

なお、中期計画においては、国の「まち・ひと・しごと創生法」に基づく第 2 期総合戦略^{*}を一体化した構造とし、地方の課題となっている人口減少及び地域経済の縮小を克服するための事業を重点戦略と位置付け、地方創生を目指した取組を一層強化していきます。

^{*}飯田市では第 1 期飯田市版総合戦略として 2015（平成 27）年度から 2020（令和 2）年度を期間に策定。

市の人口について

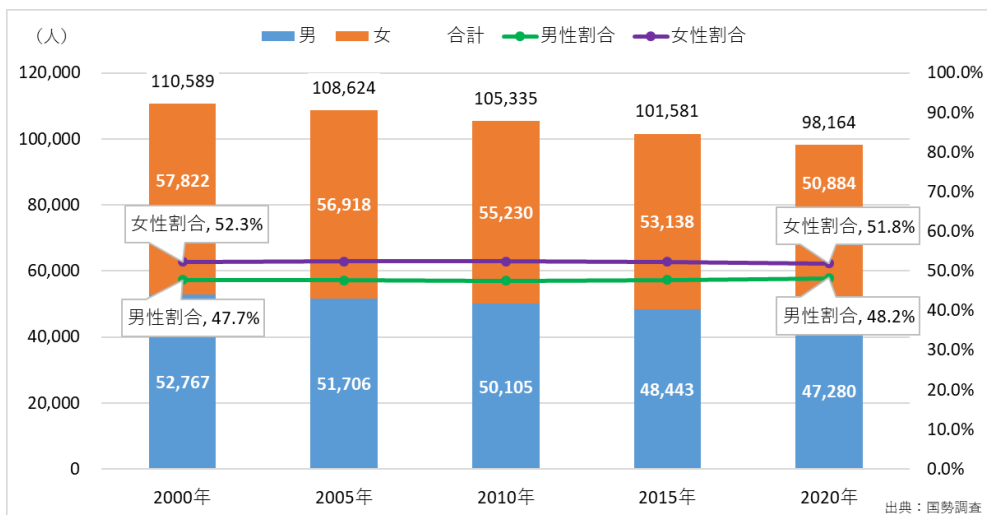
飯田市人口ビジョンでは、2028 年の定住人口を 96,000 人とし、休日滞在人口率をその 1.62 倍とし交流人口の増加を目指すことを掲げています。この目標を達成するため、前期計画 4 年間では、エス・バードの開業による地域産業の高付加価値化や人材育成の機能の強化、結いターン移住定住推進室の設置による相談者対応の強化、小中連携・一貫教育の推進と ICT を活用した教育課題対応、人形劇を通じた国際交流、若者の結婚支援や子育て・保育環境の充実、市民に寄り添う各種の保健福祉施策などを重点に展開してきました。また、リニア・三遠南信自動車道の開通を控え、駅周辺の整備、二次交通の構築、良好な生活環境の保全にも取り組みました。これらの取組の結果、2020（令和 2）年の国勢調査では 98,164 人となり、国立社会保障人口問題研究所（社人研）推計との比較では 666 人上回りましたが、人口ビジョンで展望した人口との比較では 334 人少ない状況となっています。今後も、新型コロナウイルス感染症、世界に広がる地政学的リスクやDX社会の進展など、地域社会経済や暮らしを取り巻く環境の変化を見定めつつ、いかに人口減少速度を緩やかにするかという長期的な視点から、戦略的な取組を推進する必要があります。



1 人口推移

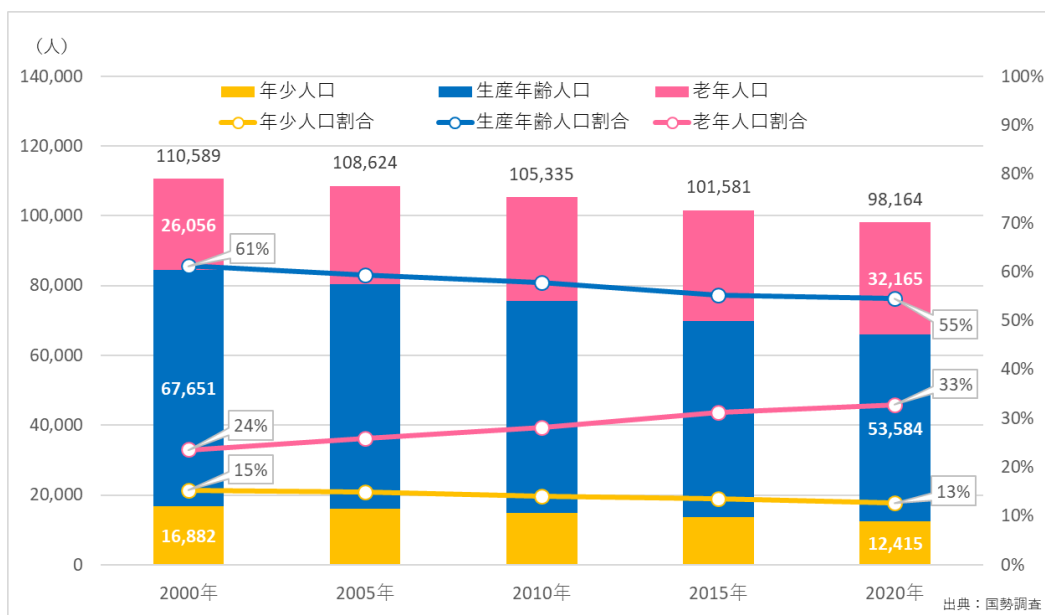
(1) 総人口

飯田市の人口は、2000年の国勢調査を境に減少に転じ、2020（令和2）年の国勢調査において10万人を割りました。男女比に大きな変化はなく、女性が50%強、男性が50%弱で推移しています。



(2) 3区分人口

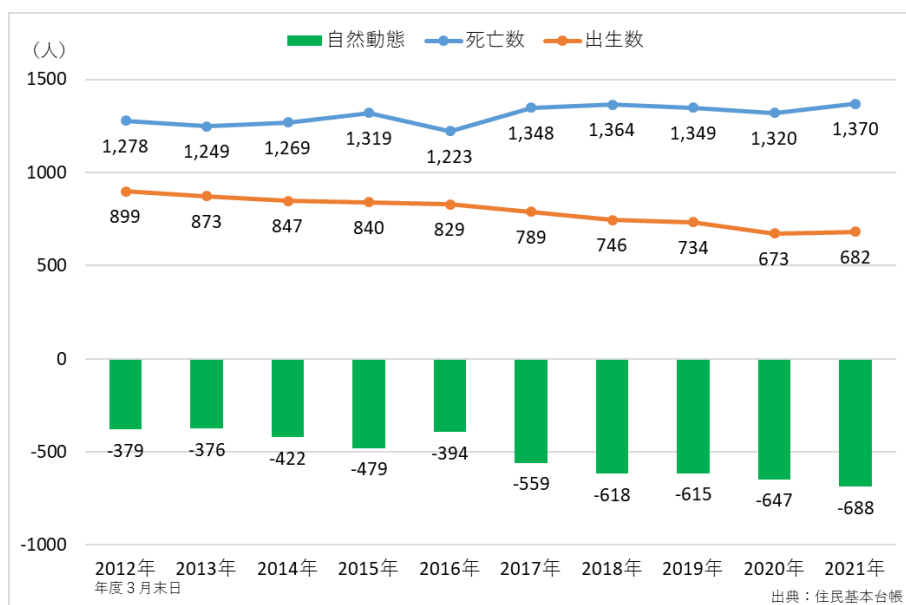
年少人口（0～15歳）、生産年齢人口（16～64歳）、高齢人口（65歳～）の3区分人口については、2000年からの20年間で高齢人口割合が9%増加（+6,109人）し、生産年齢人口割合は6%減少（△14,067人）、年少人口割合は2%減少（△4,467人）しています。



2 自然動態について

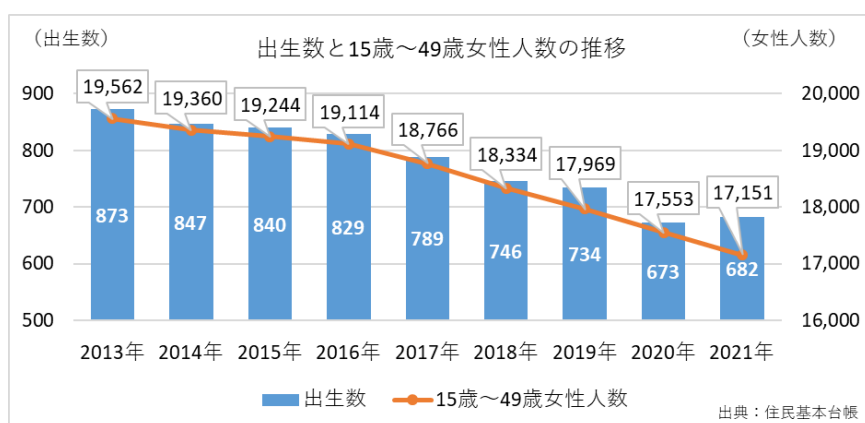
(1) 死亡数と出生数

死亡数の増加と出生数の減少により、人口の自然減（死亡数が出生数を上回る状態）が進んでいます。2012（平成24）年からの10年間で死亡数は92人増加し、出生数は217人減少しており、死亡数の増加よりも出生数の減少が大きく、出生数の減少の方が自然減への影響が多いといえます。



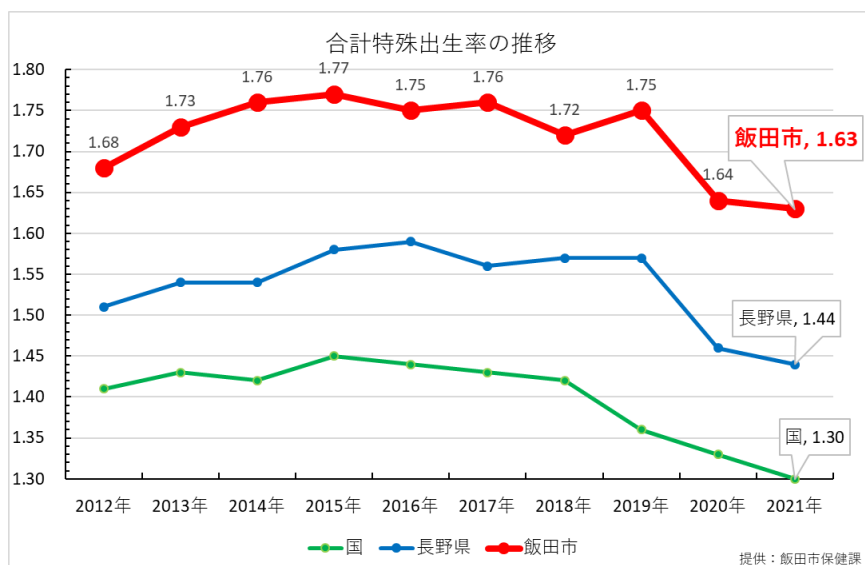
(2) 15歳～49歳女性人数

合計特殊出生率の算出に用いる15歳～49歳の女性の人数は減少が続いており、それに伴い出生数も減少しています。



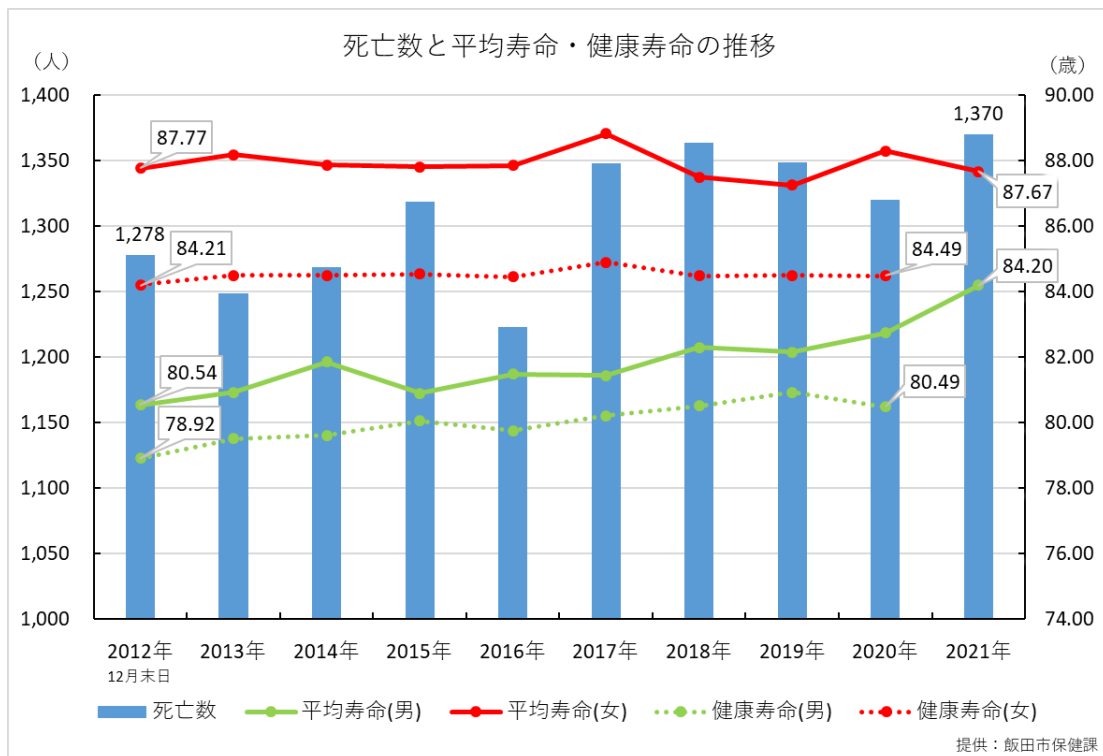
(3) 合計特殊出生率

近年、全国的に出生数の減少が続いており、飯田市においても出生数は減少しているものの、合計特殊出生率は国及び県に比べて高い水準を維持しています。



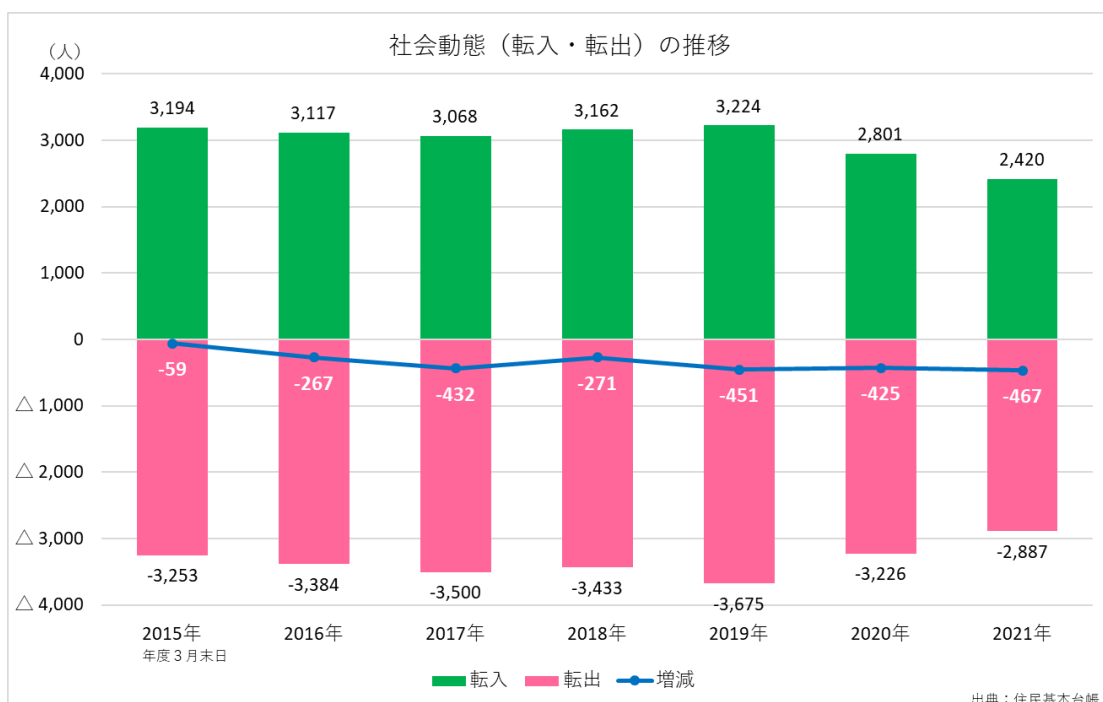
(4) 死亡数と平均寿命・健康寿命

2012年以降、女性は平均寿命が88歳前後、健康寿命が84歳超で推移しているのに対し、男性は2021年の平均寿命が84.20歳（対2012年比3.66歳延伸）、2020年の健康寿命が80.49歳（対2012年比1.57歳延伸）と、平均寿命・健康寿命ともに延伸しています。



3 社会動態について

2021（令和3）年は、2020（令和2）年に比して、転入数、転出数ともに減少したものの、転入者2,420人に対し、転出者2,887人となり、467人の転出超過（社会減）となっています。転入数と転出数の差は、2018（平成30）年を除いて拡大傾向にあります。



4 地区別人口について

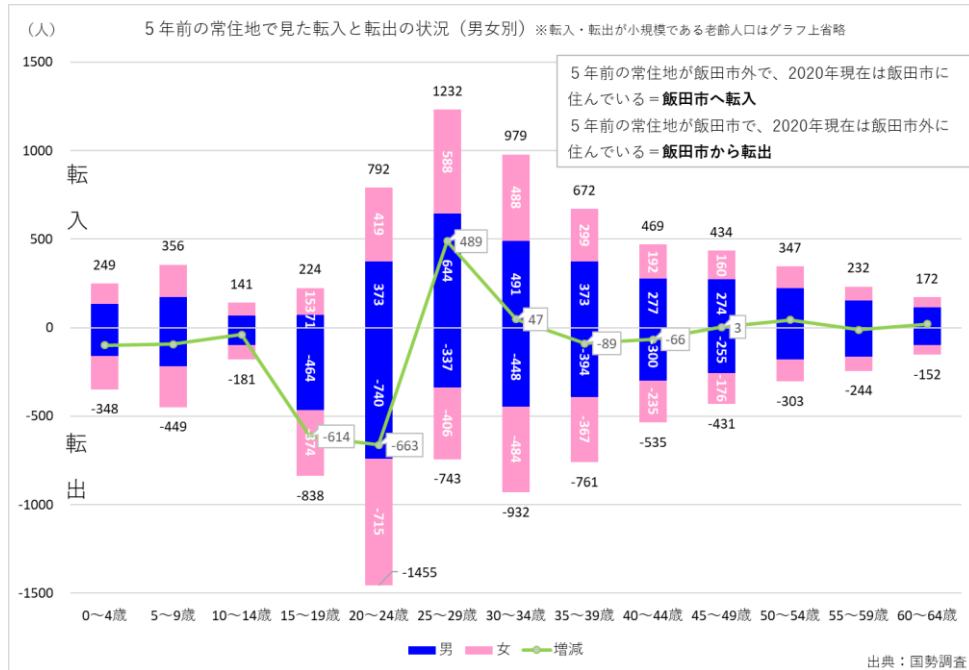
2010（平成22）年の時点で人口が5,000人を超える地区の人口推移は、ほぼ横ばいか微増減しています。一方、5,000人を下回る地区の多くが減少傾向にあります。

	2010年	2015年	2020年	5年前（2015年） からの人口増減率	10年前（2010年） からの人口増減率
橋北	3,404	3,173	2,860	90%	84%
橋南	3,024	2,723	2,489	91%	82%
羽場	5,349	4,966	4,889	98%	91%
丸山	3,684	3,505	3,260	93%	88%
東野	3,283	3,056	2,866	94%	87%
座光寺	4,586	4,382	4,196	96%	91%
松尾	12,982	13,035	13,061	100%	101%
下久堅	3,118	2,946	2,651	90%	85%
上久堅	1,481	1,318	1,174	89%	79%
千代	1,822	1,693	1,526	90%	84%
龍江	2,998	2,831	2,600	92%	87%
竜丘	6,803	6,724	6,559	98%	96%
川路	1,978	1,921	1,937	101%	98%
三穂	1,476	1,386	1,262	91%	86%
山本	5,057	4,756	4,478	94%	89%
伊賀良	14,322	14,219	14,138	99%	99%
鼎	13,557	13,168	13,135	100%	97%
上郷	14,139	13,891	13,534	97%	96%
上村	507	413	351	85%	69%
南信濃	1,765	1,475	1,198	81%	68%
飯田市合計	105,335	101,581	98,164	95%	93%

出典：国勢調査

2020（令和2）年国勢調査の分析から

2020（令和2）年国勢調査の分析から、当市における社会動態の特徴として、社会減の主たる年齢層が10歳代後半から20歳代前半の若年層であること、男女ともに20歳代後半で社会増に転じるが、男性よりも女性の方が人口減少からの回復幅が小さいことが明らかとなっており、若年層の女性の社会減が当市の人口減少に影響していることが改めて確認されました。



5歳階層別の男女別人口推移（1976年生まれ～1995年生まれ）

性別	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	15～19歳人口に対する25～29歳人口の割合	
男性	1991～1995年生まれ	2,884	2,859	2,824	2,290	1,583	2,135	93.2%
	1986～1990年生まれ	3,028	3,018	2,379	1,594	2,112	2,325	88.8%
	1981～1985年生まれ	3,305	2,725	1,911	2,479	2,511	2,552	91.0%
	1976～1980年生まれ	3,199	2,408	3,015	3,129	3,006	3,058	94.2%
男性 平均割合：91.9%								
女性	1991～1995年生まれ	2,741	2,748	2,678	2,364	1,778	1,982	83.8%
	1986～1990年生まれ	2,807	2,838	2,570	1,954	2,180	2,238	84.8%
	1981～1985年生まれ	3,272	3,057	2,345	2,548	2,542	2,519	83.3%
	1976～1980年生まれ	3,402	2,803	3,015	3,047	2,915	2,928	88.6%
女性 平均割合：85.3%								

出典：国勢調査

また、いいだ未来デザイン2028策定時には想定していなかった新型コロナウイルス感染症の感染拡大や、世界情勢の不安化による先行きの不透明感が高まっている一方で、二地域居住や地方回帰への関心が高まっており、信州大学新学部の誘致といった新しい動きも出てきています。

こういった状況を踏まえて、中期計画4年間の3年目にあたる2023（令和5）年度は、これら現状の課題や社会情勢を的確に把握し、未来デザインに掲げる「目指すまちの姿」と、それを支える人口ビジョンの達成に向けて、特に「若年層が『住みたい』と思うまちづくり」を推進し、「若年女性の社会増」と「大学のあるまちづくり」の視点に留意しつつ、戦略的に施策を展開します。

戦略の推進について

1 推進体制

- (1) 住民組織、産業界、行政機関、大学、金融機関、労働団体及び各種団体等の多様な主体と十分に連携しながら、取組の成果向上を図ります。
- (2) 全庁体制で施策を多様な主体との協働により横断的かつ総合的に推進し、地区や分野別懇談会など市民からの意見も随時反映させながら推進していきます。

2 効果の検証

- (1) 総合戦略としての成果を客観的かつ定量的に測るため、重要業績評価指標（KPI）を設定し、進行管理の中で合わせて評価を行います。
- (2) 外部評価を実施し、市民や議会、関係者からの意見を取り入れることで、より効果の高い取組へ改革改善していくPDCAサイクルを実施します。

SDGsの推進について

SDGs（エス・ディー・ジーズ：Sustainable Development Goals）とは、持続可能な開発目標のことで、2015（平成27）年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016（平成28）年から2030（令和12）年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、国としても積極的に取り組んでいます。

SDGsは、その基本理念として、貧困の撲滅をはじめ、世界中の「誰ひとり取り残されない」という、包摂的な世の中を作っていくことが重要であると示しています。これは、住民の福祉の増進を図ることを目的とする地方自治体と、目的を同じくするものです。そこで、当市も本計画の各分野においてSDGsに関連する目標指標を掲げ、自治体レベルでSDGsの理念と目標を支えることとしました。


〇いいだ未来デザイン 2028 と SDG s の連携

SDG s の取組目標		関連する未来デザインの基本目標 (テーマ)	SDG s の取組目標	関連する未来デザインの基本目標 (テーマ)
	貧困をなくそう	③(学校教育)⑧(福祉) ⑫(防災・社会基盤)		人や国の不平等をなくそう ①(産業)⑩(多様性)
	飢餓をゼロに	①(産業)⑧(福祉)		住み続けられるまちづくりを ④(社会教育)⑤(文化・スポーツ)⑧(福祉)⑨(地域)⑪(環境)⑫(防災・社会基盤)⑬(都市基盤)
	すべての人に健康と福祉を	⑥(子育て)⑦(健康) ⑧(福祉)⑪(環境) ⑫(防災・社会基盤)		つくる責任 つかう責任 ①(産業)⑪(環境)
	質の高い教育をみんなに	①(産業)②(人の流れ) ③(学校教育)④(社会教育) ⑤(文化・スポーツ) ⑥(子育て)⑪(環境)		気候変動に具体的な対策を ③(学校教育)⑪(環境) ⑫(防災・社会基盤) ⑬(都市基盤)
	ジェンダー平等を実現しよう	③(学校教育)④(社会教育) ⑥(子育て)⑩(多様性)		海の豊かさを守ろう ⑪(環境)
	安全な水とトイレを世界中に	⑪(環境) ⑫(防災・社会基盤)		陸の豊かさを守ろう ①(産業)⑪(環境) ⑬(都市基盤)
	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	⑪(環境) ⑬(都市基盤)		平和と公平をすべての人に ④(社会教育)⑥(子育て) ⑦(健康)⑧(福祉) ⑩(多様性)
	働きがいも経済成長も	①(産業)②(人の流れ) ⑥(子育て)⑩(多様性)		パートナーシップで目標を達成しよう ①(産業)⑨(地域) ⑩(多様性)⑪(環境) ⑬(都市基盤)
	産業と技術革新の基盤をつくろう	①(産業)⑪(環境) ⑬(都市基盤)	 	

SDG s の 17 の目標は、「貧困をなくそう」からはじまり「すべての人に健康と福祉を」、「質の高い教育をみんなに」、「住み続けられるまちづくりを」など、市民生活とも関わりが深い目標です。このことから、SDG s を、市民や事業者、行政との協働に向けた体制づくり、あるいは、情報や課題の共有手段として活用していくことが可能です。

また、17 の目標は相互に関連し、持続可能なまちづくりにつながっていきます。このことから、SDG s を、市の各担当課で実施している施策・事業間の横断的連携を図ったり、施策・事業の目標管理に活用したりすることが可能です。

いいだ未来デザイン 2028 中期計画においては、国際目標である SDG s を「新しいものさし」とすることで、市民・事業者・行政などそれぞれが、グローバルな問題を地域の視点から捉え、あるいは、地域の問題をグローバルな視点から捉える機会となること、そして SDG s をキーワードに様々な立場の人が連携し、様々な分野で持続可能なまちづくりを推進していくことを目指します。

飯田市の SDG s への取り組みについてはこちら 

<https://www.city.iida.lg.jp/soshiki/13/sdgs.html> (飯田市公式ウェブサイト)





基本目標	1 稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる
戦略 (考え方)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域産業の持続可能な成長を目指し、産業振興と人材育成の拠点であるエス・バードの機能を活用して、地域産業の高付加価値化に取り組み、外貨獲得と域内発注・域内調達・域内消費による域内経済循環を推進します。 ◆ 新型コロナウイルス感染症に負けない地域産業を構築するために、新たなビジネスモデルへの転換や事業承継等に取り組む事業者を支援するとともに、「環境・エネルギー」「福祉・医療」分野の産業創出を進め、様々な分野における地域産業の将来を支える担い手、起業家の育成に取り組みます。 ◆ 外貨を稼ぐ農業を振興するとともに、「農ある豊かな暮らし」が広がる取り組みを推進し、市民が農業の持つ多面的機能への理解を深め、地域が支える農業の実現を目指します。また、豊富な森林資源を活用する視点に立ち、地域産材や間伐材が有効活用される仕組みづくりに取り組みます。 ◆ アフターコロナにおける南信州地域全体の観光振興に向けて、遠山郷、天龍峡やリニア開業により玄関口となる中間駅周辺をはじめ、各地域が持つ特色ある資源を生かして、魅力づくりに取り組む人たちを支援するとともに、様々なニーズに対応できる「旅の目的地」となる魅力を発信することで人を呼び込み、観光消費を促し、結果として観光従事者が増えるなど地域経済の振興に繋がる取組を進めます。 ◆ 多様な働き方を認め、働きやすい環境づくりを推進するために「ワークライフバランス改革」を企業とともに進めます。 ◆ コロナ禍における地方への移転と分散の動きをとらえて、産業用地等の整備やエス・バードの活用など、地域の強みを生かした企業・オフィス誘致に取り組みます。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
① 工業技術試験研究所利用件数(件)	826	762	516 (12月末)		3,400 (累計)
② 飯田産業技術大学受講者数(人)	953	1,015	815 (12月末)		3,800 (累計)
③ 粗付加価値額(飯田下伊那)(億円)	1,480 (H30)	1,432 (R1)	1,571 (R2)		1,480
④ 6次産業化総合化事業計画認定件数(件)	3 (R1)	1	0		4 (累計)
⑤ ネスクイダ取引成約金額(億円)	11.6	9.6	年度末		40 (累計)
⑥ 直売所の八百屋機能を活用した店舗数(店舗)	2	3	3 (12月末)		10 (累計)
⑦ 産業センター専門家が支援する新分野・新事業に取り組む企業数(社)	67	19	年度末		200 (累計)
⑧ 信州大学社会人スキルアップ講座(食品・電気)修了者数(人)	12	10	年度末		40 (累計)
⑨ I-Port、ビジネスプランコンペにより成立する創業・新事業展開・事業転換の件数(件)	9	8	7 (10月末)		40 (累計)
⑩ 信州大学共同研究講座 学位取得者数(人)	3	4	年度末		24 (累計)
⑪ エスバード内共創の場 利用者数(人)	2,825	2,707	1,613 (12月末)		12,000 (累計)
⑫ 新規就農者数[自営・法人就農](人)	6	17	4 (12月末)		30 (累計)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
⑬ 市田柿出荷量[南信州](t)	2,094 (R1)	2,085	年度末		2,300
⑭ 市民農園の利用区画数(区画)	210	215	年度末		240
⑮ 1日農業バイトマッチング件数(件)	230	1,223	1,370 (12月末)		1,000
⑯ 森林資源活用推進事業 実施件数(件)	12 (R1)	21	21 (12月末)		30
⑰ 間伐面積(ha)	300	190	79 (12月末)		1,200 (累計)
⑱ 天龍峡の観光入込客数(人)	253,600	225,100	240,900		376,000
⑲ 遠山郷の観光入込客数(人)	52,800	56,200	52,200		113,000
⑳ 観光消費額(百万円) (長野県観光地利用者統計)	742	731	934		1,250
㉑ 職場いきいきアドバイスカンパニー認証企業数(社)	9	11	13 (12月末)		13
㉒ 企業立地(振興)促進事業補助金交付対象企業の雇用人数(人)	91	8	31 (12月末)		96 (累計)
㉓ 企業誘致数(社)	2	3	4 (12月末)		7 (累計)

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① 地域産業の育成による高付加価値化

- (1) エス・バード内工業技術試験研究所の機能・体制を強化するとともに大学や研究機関等の連携により製品・技術開発を支援します。
- (2) エス・バードを拠点に多様な分野との連携促進を図るため、新たなプラットフォームによる地域資源を活用した商品開発や販路開拓を支援します。
- (3) 農業分野を超えた業界連携による新商品開発等の6次産業化への取組を支援します。
- (4) 新たな製品開発や技術力向上に向け、製造現場における技術・技能者・管理者等の育成を図るとともに、信州大学と連携し、専門的なスキル・知識を持つ人材の育成に取り組みます。【小戦略④にも掲載】
- (5) 製造現場における課題解決と改善のためのDX・IT化、FA化等に取り組む事業者を支援します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	環境技術開発センター運営事業	工業課	7,551	基本目標1小戦略⑦ 基本目標2小戦略③
(1)(2)	産業振興事業	工業課	176,580	基本目標1小戦略②③
(1)(5)	新産業創出事業	工業課	17,590	基本目標1小戦略③
(3)	農業経営強化事業	農業課	14,124	
(4)	人材育成事業	工業課	21,511	基本目標1小戦略④
		計	237,356	

補足事項

(1) KPI: 工業技術試験研究所利用件数(件)

粗付加価値額(飯田下伊那)は、工業統計調査を利用しているため、H30年度の数値を基準値として記載

② 地域経済循環の推進

- (1) 関係団体や事業者が一体となって地域全体の域産域消に取り組むため、地元の農畜産物をホテル・旅館等へ年間を通して供給する仕組みづくりを進めます。
- (2) 地域内発注や域内調達及び地域内消費を促進するため、循環構造の分析、地域通貨の研究、事業者連携の先進的取組支援、地域消費推進に関する調査など具体的な取組、事業を推進します。
- (3) (公財)南信州・飯田産業センターのネスクイダを中心に、販路開拓による域外からの受注獲得と、域内受発注の促進や地域内企業の連携による製品開発を支援します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	地域循環型農業推進事業	農業課	3,082	基本目標1小戦略⑤ 基本目標3小戦略④
(2)	地域経済循環推進事業	産業振興課	3,182	
(2)	商業振興推進事務	商業観光課	1,917	
(3)	産業振興事業	工業課	176,580	基本目標1小戦略①③
		計	184,761	

③ 事業継続と新たなビジネスモデルの創出、事業再構築、起業家の育成

- (1) コロナ禍の影響を大きく受けた事業者の状況を注視しながら、関係機関と連携して事業承継に関する意向調査とフォローアップ、関係機関の支援ネットワークを強化し、対応を進めます。
- (2) (公財)南信州・飯田産業センターへ配置した専門人材により、新分野(次世代エアモビリティ・環境等)の製品・技術開発及び販路開拓を支援します。
- (3) 飯田市新事業創出支援協議会(I-Port)の機能活用と、ビジネスプランコンペティションの開催を通して、起業家の創出と育成及び継続的な伴走支援、新事業創出、事業転換を目指す事業者の支援に取り組めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	事業承継支援事業	産業振興課	1,455	
(2)	産業振興事業	工業課	176,580	基本目標1小戦略①②
(2)	新産業創出事業	工業課	17,590	基本目標1小戦略①
(3)	起業家育成支援事業	工業課	9,917	
		計	205,542	

④ 地域産業を支える担い手・企業人材の育成・確保

- (1) 信州大学や(公財)南信州・飯田産業センターと連携し、航空機システム共同研究講座及びブランドスケープ・プランニング共同研究講座の運営支援に取り組み、エス・バード内「信州大学南信州・飯田サテライトキャンパス」の充実に向けて支援します。
- (2) 担い手就農プロデュース、農業法人等の関係機関と連携して、新規就農者、親元就農者の確保と育成に取り組みます。
- (3) 新たな製品開発や技術力向上に向け、製造現場における技術・技能者・管理者等の育成を図るとともに、信州大学と連携し、専門的なスキル・知識を持つ人材の育成に取り組みます。【小戦略①にも掲載】
- (4) 各事業所が良い人材を確保し、女性や若者などにいきいきと活躍してもらうには、より具体的に働き方改革の視点で、地域の事業者の取組の底上げと先進的な取組の拡大が必要であり、国県の認定制度利用、関係者の研修ほか事業者の取組を支援します。
- (5) 各産業分野における人材不足を踏まえ、人材の確保に向けてWeb・デジタル技術活用による情報発信力を強化するとともに、関係機関と連携して人材確保の取組・体制強化を進めます。【基本目標2にも掲載】

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(3)	人材育成事業	工業課	21,511	基本目標1小戦略①
(2)	担い手確保・育成支援事業	農業課	61,338	
(4)	勤労者支援事業	産業振興課	139,985	
(5)	雇用対策事業	産業振興課	3,362	基本目標2小戦略③ 基本目標4小戦略②
(5)	技能者育成支援事業	産業振興課	2,881	基本目標2小戦略③
		計	229,077	

補足事項

(1) KPI: 信州大学共同研究講座 学位取得者数(人)

⑤ 地域に根差した農林業の推進

- (1) 市田柿・ぶどう・なしの産地力の強化と、販路の拡大に取り組みます。
- (2) 「農ある暮らし」を応援するため、市民農園制度等を拡充・周知するとともに、1日農業バイトのマッチングアプリの活用を進めます。
- (3) 地域循環型農業の推進のため、域産域消と環境に配慮した農業を振興します。このため、地域内の未利用資源の肥料・飼料等への活用や、環境に配慮した農産物を選択してもらうための地域相互認証制度の創出に取り組みます。
- (4) 林業関係団体と連携して、市産材(認証材含む)の利用を促進します。
- (5) 搬出間伐や主伐・再造林促進のため、山林所有者等の意向調査を進めるとともに、架線集材による施業を推進・支援し、二酸化炭素の吸収作用を高めることにもつながる森林整備を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	果樹・野菜等産地力強化事業	農業課	55,223	
(2)	農業振興センター事業	農業課	6,200	
(3)	地域循環型農業推進事業	農業課	3,082	基本目標1小戦略② 基本目標3小戦略④
(4)	森林資源活用推進事業	林務課	9,735	
(5)	森林づくり推進事業	林務課	110,507	
(5)	森林経営管理事業	林務課	41,642	
		計	226,389	

⑥ アフターコロナの観光産業の推進

- (株)南信州観光公社と連携して、地域資源を活かし、旅行の小グループ化や自然志向等、観光需要の変化による多様なニーズに応える新たなツーリズムの提供を目指します。更に、デジタル技術の活用と観光客を介した動画発信に向け整備を進めます。
- (2) 天龍峡南部(そらさんぽ天龍峡、天龍峡パーキングエリア、下村広場)の施設とJR天竜峡駅周辺の施設から、周遊の促進などによる観光客数及び滞在時間の増、消費喚起を図ります。
- (3) 道の駅遠山郷の再生に向けた取組を進めるとともに、南アルプスの「エコ登山」やしらびそ高原を起点とした山岳高原観光を推進して、観光を切り口とした地域振興を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	観光誘客推進事業	商業観光課	71,732	
(2)	天龍峡まちづくり支援事業	商業観光課	34,287	
(3)	遠山郷観光戦略プロジェクト事業	遠山郷観光振興室	15,569	
(3)	上村観光施設管理事業	遠山郷観光振興室	54,657	
(3)	南信濃観光施設管理事業	遠山郷観光振興室	135,392	
		計	311,637	

⑦ 企業誘致、オフィス誘致の推進

- (1) 龍江インター産業団地への企業誘致のPRを進めるとともに、リニアの発生土の活用も視野に入れつつ、更なる産業用地の確保を検討します。
- (2) リニア時代を見据え、地方への拠点開設に関心のあるICT関連産業を含むオフィス誘致への取組みを強化するとともに、SDGs、DX等新たな視点も踏まえた企業誘致に取り組みます。【基本目標2にも掲載】

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	産業用地整備事業	工業課	81,730	
(2)	企業誘致・立地促進事業	工業課	56,547	基本目標2小戦略③
(2)	環境技術開発センター運営事業	工業課	7,551	基本目標1小戦略① 基本目標2小戦略③
		計	145,828	

補足事項

- (2) KPI: 企業誘致数(社)

基本目標	2 飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市への人の流れをつくる
戦略 (考え方)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 交流人口、関係人口の拡大を目指し、飯田のブランド力を向上する様々な取組を支援するとともに、飯田の魅力を市民と共有しつつ、地域外の方々に認知し共感していただくための情報発信を展開します。 ◆ 暮らしと交流のステージである中心市街地の魅力を磨き、空き店舗の活用を始め、既存のストックを生かした「歩く人が中心の賑わいのあるまち」づくりを進め、関係人口の増加を目指します。 ◆ 高校生や大学生と地元企業とを「つなぐ」事業を推進し、地域と若者の関係を深め、地元企業の人材確保をサポートし、若者の回帰定着を進めます。 ◆ 地域の魅力や実現可能なライフスタイルを発信するとともに、職・住・暮らしの個別相談、地域の受入環境づくり、移住後の支援を行い、移住定住を推進します。 ◆ 各地区が特徴を生かして交流人口・関係人口・移住者の増加を目指す「20地区田舎へ還ろう戦略」を、地域と行政が協働して進めます。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標(KPI)					
指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R1	R3	R4	R5	R6
① VisitIIDA.comサイトユーザー数(ユーザー)	461	5,669	5,035 (12月末)		6,000
② IIDA2027ツイッターフォロワー数(人)	1,998	3,552	4,018 (12月末)		4,500
③ 返礼品登録数(件)	155	242	269		310
④ 中心市街地の歩行者・自転車通行量(人/日)	8,414	7,684	6,324		10,215
⑤ 新規高卒者の地域内就職率(%)	20.60	19.69	17.63		25.00
⑥ 新規大学等卒業者の地域内就職率(%)	18.20	19.83	19.57		25.00
⑦ 高等教育機関の学生に情報発信できるインターンシップ受入企業数(社)	20	30	37 (12月末)		40
⑧ 「つなぐ」事業のSNSフォロワー等の数(人)	700	828	914 (12月末)		1,700
⑨ 新規移住相談件数(件)	233	264	221 (12月末)		280
⑩ UIターン移住者数(人)	114	104	68 (12月末)		136
⑪ 「20地区田舎へ還ろう戦略」で関係人口拡大の取組を行った地区数(通常ベースの活動は除く)(地区)	13	20	20		20

小戦略(具体的な取組)及び戦略的業務事業

① 市民・事業者参加型による飯田の魅力発信

- (1) 市民や事業者とともに「飯田焼肉」「飯田水引」等の魅力発信につながる様々な取組を行います。
- (2) 飯田の魅力を紹介するWebサイト・動画等の充実を図ります。
- (3) ふるさと納税への事業者の参画を促進し、飯田の魅力を伝えることのできる返礼品の増加に取り組みます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	IIDAブランド推進事業	広報ブランド推進課	6,759	
(2)	公立認定こども園管理運営事業	子育て支援課	777,251	基本目標6小戦略④
(3)	ふるさと飯田応援隊募集事業	広報ブランド推進課	255,306	
		計	1,039,316	

補足事項

(3) KPI: 返礼品登録数(件) 総務大臣指定となる10月1日時点の数値とします。

② 中心市街地の賑わいのある街づくり

- (1) 飯田駅周辺、桜並木、春草通りなど、既存ストックを活用、強化、進化させるとともに、りんご並木・動物園の70周年等を記念した事業をきっかけにするなど、アフターコロナに向けた賑わいづくりを進めます。さらに、りんご並木への車両進入を制限する社会実験の実施に向け、関係者と十分調整を図るとともに、市営駐車場の利用を促進するなど、歩いて周遊できるまちづくりを進めます。
- (2) 民間企業と連携したデジタル技術の活用による新たな魅力・サービスづくりを進め、歩き、集い、巡る賑わいのある街づくりに取り組みます。
- (3) 中心市街地の現況調査に取り組み、実態に応じた施策展開を進めていきます。
- (4) 電気小型バス「プッチー」を運行し、まちの回遊性を高めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)(4)	中心市街地活性化推進事業	商業観光課	12,453	
(1)(2)	りんご並木活性化事業	商業観光課	13,491	
(1)	公民館維持管理事業	公民館	211,312	基本目標4小戦略⑤
(1)	飯田動物園管理運営事業	維持管理課	53,302	
(1)	飯田型キャリア教育推進事業	学校教育課	6,842	基本目標3小戦略③ 基本目標4小戦略②
(3)	にぎわい創出店舗活用事業	商業観光課	3,118	
		計	300,518	

③ 「結い」による移住定住の推進と関係人口の創出・拡大

- (1) 各産業分野における人材不足を踏まえ、人材の確保に向けてWeb・デジタル技術活用による情報発信力を強化するとともに、関係機関と連携して人材確保の取組・体制強化を進めます。【基本目標1にも掲載】
- (2) リニア時代を見据え、地方への拠点開設に関心のあるICT関連産業を含むオフィス誘致への取組みを強化するとともに、SDGs、DX等新たな視点も踏まえた企業誘致に取り組みます。【基本目標1にも掲載】
- (3) 対面とオンラインを組み合わせたワンストップ窓口体制による移住相談・支援を行います。
- (4) 事業所の求人開拓と若年層の移住希望者に対し“仕事”と“暮らし”のお試し体験「結いターンシップ事業」を実施します。
- (5) 事業者及び地域と連携した空き家バンクの取組と一般物件の情報提供により、住まいの確保を支援します。
- (6) 当地域のフロント役である移住コンシェルジュ等と連携し、移住者の受入れと定住に向けた暮らしの支援を行います。
- (7) 移住セミナーによる地域や暮らしの情報発信、結いターンアンバサダーによる魅力発信、地域課題に取り組む活動等を通じた都市部の若者と地域住民との交流の充実を図り、関係人口の創出・拡大に向けた取組を進めます。
- (8) マッチングシステムやSNS等のコミュニケーションチャネルを効果的に活用し、「20地区田舎へ還ろう戦略」と連動しながら、地域との出会いやその関係性を深める取組を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	雇用対策事業	産業振興課	3,362	基本目標1小戦略④ 基本目標4小戦略②
(1)	技能者育成支援事業	産業振興課	2,881	基本目標1小戦略④
(1)(7)	大学とのネットワーク構築事業	大学誘致連携推進室	15,018	基本目標4小戦略①②③⑥
(2)	企業誘致・立地促進事業	工業課	56,547	基本目標1小戦略⑦
(2)	環境技術開発研究センター運営事業	工業課	7,551	基本目標1小戦略①⑦
(3)(4)(5)(6)(7)(8)	移住定住推進事業	結いターン移住定住推進課	20,304	
(5)	総合的な空き家対策事業	結いターン移住定住推進課	17,779	基本目標9小戦略③
(6)(7)(8)	20地区田舎へ還ろう戦略支援事業	地域自治振興課	2,989	基本目標9小戦略②
(6)(7)(8)	中山間地域振興事業	結いターン移住定住推進課	63,242	基本目標9小戦略③
(6)(7)(8)	遠山郷振興事業	結いターン移住定住推進課	9,905	基本目標9小戦略③
		計	199,578	



基本目標	3 “結いの心”に根ざす教育を実践し、豊かな心とリニア時代を生きる力を育む
戦略 (考え方)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ お互いを認め合い、安心して学べる学級づくりを目指し、子どもたちの学力の保障・向上と不登校対策のため、小中連携・一貫教育を進めます。また、コロナ禍への対応を含め、全ての教育活動を通じてICTの活用を推進します。 ◆ 日常生活における自他の尊厳を尊重する態度を育成し、互いを認め合える温かな人間関係づくりと個に寄り添った誰ひとり取り残さない教育や支援を推進します。 ◆ 飯田コミュニティスクールを活かし、地域・学校・家庭がそれぞれ当事者意識を持って協働し、地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりを進めます。 ◆ 学校給食の地産地消、有機食材の導入拡大と、献立に地域の旬の食材や郷土食、行事食を取り入れる工夫に努めながら、学校給食を活用した食育に取り組みます。 ◆ 子どもが読書を楽しみ、感性や言葉を豊かにし、想像力、表現力や情報を活用する力をつけられるよう、乳幼児期から発達段階に応じて読書体験の充実に取り組みます。 ◆ 就労等で放課後保護者等が不在となる家庭の児童の居場所づくりのため、児童支援員の確保や適切な配置に努めるとともに、4年生以上高学年の受入希望にも対応できる組織・体制づくりを進めます。 ◆ 児童生徒の減少や学校施設の老朽化が進んでいる中で、地域に根差した飯田らしい教育環境が展開され、将来にわたり子どもたちが主体的に学び合う場とするためには、どのような学校がよいのか、子どもたちの未来のため、みんなで考えていきます。 ◆ 児童生徒が安心・安全に学校生活を送ることができるよう、通学路安全対策や環境整備を進めるとともに、気候変動に適応した校外活動に取り組みます。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)

指標(単位) 把握方法	進捗				目標
	基準 R2	R3	R4	R5	R6
① 全国学力・学習状況調査における小6国語、算数、中3国語、数学の全国平均比較 (◎… $\geq +2$ 点、○… $+2 > -2$ 点、△… ≤ -2 点)	小6国○ 算数○ 中3国△ 数学△ (R1)	小6国○ 算数○ 中3国○ 数学△	小6国○ 算数○ 中3国○ 数学○		小6国語○ 算数○ 中3国語○ 数学○
② 全国学力・学習状況調査における「自分には良いところがあると思いますか。」に対する回答結果の全国平均差(点)	小6年△1 中3年△3 (R1)	小6年△2 中3年△4	小6年±0 中3年△6		小6年 ±0 中3年 ±0
③ 不登校児童生徒在籍比(%)	小 0.87 中 3.91 (R1)	小 0.99 中 4.73 (R2)	小 1.81 中 4.49 (R3)		前年度以下
④ 学校給食における飯田下伊那産野菜主要10品目利用率(%)	54.1 (R1)	46.8 (R2)	44.4 (R3)		55.0
⑤ 授業以外に1日10分以上読書をしている児童生徒割合(%)	小6-67.1 (県69.0) 中3-55.6 (県57.1) (R1)	小6-63.6 (県64.9) 中3-60.2 (県59.8)	小6-60.6 (県63.4) 中3-53.8 (県55.9)		県平均以上

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① 学力保障・学力の向上

- (1) 学力向上の基盤となる「自分の良いところを自覚し、互いを認め合える」集団・学級づくりを、すべての小中学校で目指します。
学力向上「結い」プラン(ねらい、めりはり、みとどけ)とムスの学びに基づく授業づくりを徹底し、ねらいに向かって主体的に取り組む様子を、子どもたちの具体的な変容の姿でとらえ、小中連携・一貫教育推進委員会で共有し、各校に横展開していきます。また、自ら考え取り組む家庭学習を目指し、家庭学習の改善に取り組みます。
- (2) 一人一台の学習者用端末を使用し、一人ひとりの考えをクラス全員が共有することを位置づけた授業の展開と、休校時にはつながりと学びを大切にしていきます。また、ICTの活用にあたっては、子どもたちが安全安心に使えるように、専門家の意見を聞きながら活用する力を高めていきます。
- (3) 全ての教育活動を通じて、読解力を高めることを意識した授業づくりに取り組みます。また、「リーディングスキルテスト」(基礎的な読む力を測定・診断するテスト)を通じて児童生徒の読解力の状況を把握し、効果検証につなげます。
- (4) 小中学校の外国語を担当する教員の指導力向上を図り、ALT(外国語指導助手)との連携やICTの活用で、言語活動を重視した、児童生徒が主体的に学ぶ授業づくりに取り組みます。

小戦略(番号)	事務事業名	主管課	当初予算(千円)	備考
(1)(2)(4)	人間関係づくり支援事業	学校教育課	48,605	基本目標3小戦略②
(1)(2)(4)	学力向上推進事業	学校教育課	18,751	
(1)(2)	小中連携・一貫教育推進事業	学校教育課	1,241	基本目標3小戦略⑦
(3)	学習におけるICT活用推進事業	学校教育課	215,503	
(3)	情報モラル教育推進事業	学校教育課	1,900	
(5)	外国語教育推進事業	学校教育課	49,544	
		計	335,544	

② 温かな人間関係づくりと誰ひとり取り残さない教育や支援

- (1) 互いを認め合える、困っている人には手を差し伸べる温かな人間関係のある集団づくりに取り組むため、学級づくりの支援や、中学校区毎に研修会などを開催します。
登校や居場所づくりに向けた相談や支援を行う教育支援指導主事を中学校区単位に配置するとともに、
- (2) 教育支援センター「びーいんぐ」の教育相談コーディネーターを増員し、学びの場、相談の窓口、民間施設との連携拠点の場として機能を強化し、個に寄り添った支援の充実を図ります。
- (3) いじめの未然防止や早期発見に努め、迅速かつ組織的に対応します。また児童虐待の早期発見に努めます。
- (4) 特別な支援が必要な子どもについて、支援員を増員するとともに、より多様化する子どもたちのニーズに対応するために、全ての教職員を対象とした特別支援教育に関する研修を行います。
- (5) 経済的理由により子どもたちの学習の機会が制約されることのないよう支援します。また、奨学金制度について、返済期間中に飯田市に居住した場合には、返済金の一部を免除します。

小戦略(番号)	事務事業名	主管課	当初予算(千円)	備考
(1)(2)(3)	人間関係づくり支援事業	学校教育課	48,605	基本目標3小戦略①
(4)	特別支援教育支援事業	学校教育課	102,494	基本目標10小戦略③
(5)	就学援助等事業	学校教育課	130,622	
(5)	奨学金貸与事業	学校教育課	30,497	
		計	312,218	

③ 飯田コミュニティスクールを活かした地域・学校・家庭での教育の推進

- (1) 地域に誇りと愛着を抱き、将来の地域づくりを担い、支える人を育むため、幼少期から高等教育期までの継続的で系統的なキャリア教育を地域・学校・家庭が連携して進めます。
- (2) 「めざす子ども像」の実現に向け、地域・学校・家庭が学校運営協議会で課題を共有し、各学校の特色を生かした地域学校協働活動を推進します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	飯田型キャリア教育推進事業	学校教育課	6,842	基本目標2小戦略② 基本目標4小戦略②
(1)	地育力向上連携推進事業	生涯学習・スポーツ課	4,351	基本目標4小戦略②③
(2)	飯田コミュニティスクール推進事業	公民館	1,767	基本目標4小戦略②
		計	12,960	

④ 食育の推進

- (1) 地域の旬の食材を楽しみ、安全安心な給食を提供するために、学校給食における地元産野菜利用率の向上に努めます。
- (2) 学校給食の献立に、郷土食、行事食を取り入れる工夫をします。また「食育の日」を設け、栄養士、調理員と連携し、食の大切さを児童生徒に伝えます。
学校給食への地元農産物や、有機農産物をはじめとした環境に配慮した農産物の導入を推進するため、
- (3) 庁内で連携し、生産者、流通販売事業者、利用者の理解の醸成と、安定的に供給できる仕組みづくりに取り組みます(域産域消の推進)。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	学校給食運営事業	学校教育課	374,417	
(3)	地域循環型農業推進事業	農業課	3,082	基本目標1小戦略②⑤
		計	377,499	

⑤ 子どもの読書活動の推進

- (1) はじめまして絵本プレゼントやセカンドブックプレゼントなどにより、乳幼児期の読みきかせを通じた親子のふれあい体験や幼児が絵本や物語を楽しむ機会を増やします。
小中学生が本に関心を持ち自発的な読書が行えるよう、学校図書館司書の体制を充実させ、読書習慣の
- (2) 定着を図ります。また、学校図書館システムの導入を進めるとともに、図書館等を使って情報を収集し、選択・活用する力を、小中学校を通して段階的に育みます。
- (3) 駅前図書館を拠点として、高校生の読書活動や探究学習等を支援します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	子ども読書活動推進事業	中央図書館	11,330	
(2)	学校教育振興事業	学校教育課	177,986	基本目標3小戦略⑧
		計	189,316	

⑥ 児童の放課後の居場所づくり

- (1) 児童支援員の確保及び施設や備品等の整備など、児童を受け入れる環境づくりを進めます。
- (2) 4年生以上の高学年の受入については、学校運営協議会等とも相談しながら、学校施設の複合利用も含めて、地域に合った体制づくりを検討していきます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	児童館・児童センター・児童クラブ運営事業	学校教育課	217,346	
(1)(2)	放課後子ども教室設置運営事業	学校教育課	4,197	
		計	221,543	

⑦ 少子化における児童生徒の教育環境の充実に向けた取組

- これからの小中学校のあり方について、令和3・4年度に行った各学校運営協議会での意見交換、保護者
- (1) アンケート、配置枠組み研究を基に、令和5年度に設置する「飯田市これからの学校のあり方審議会」へ諮問し、基本方針(案)策定に向けた調査審議を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	小中連携・一貫教育推進事業	学校教育課	1,241	基本目標3小戦略①
		計	1,241	

⑧ 防犯・通学路の安全対策・環境整備・気候変動適応

- (1) 飯田市通学路安全対策アクションプログラムに基づき、関係機関等との連携のもと通学路の安全対策や安全指導などを進めます。
- (2) 不審者や事件などの情報を、学校や家庭、地域、関係機関等と速やかに共有するとともに、児童生徒の安全を確保するために必要な対応を実施します。
- 小中学校の照明器具のLED化改修を進めるとともに、施設を長く大事に利用していくための整備を教育
- (3) 委員会施設等総合管理計画に基づき計画的に実施します。またWBGT(暑さ指数)計を活用した熱中症対策など、気候変動を踏まえた対策を徹底します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	学校教育振興事業	学校教育課	177,986	基本目標3小戦略⑤
(1)	交通安全施設整備事業	危機管理課	21,725	基本目標12小戦略④
(1)	防災・安全対策事業	土木課	782,845	基本目標12小戦略⑤
(3)	学校保健事業	学校教育課	56,126	
(3)	小学校施設改修事業	生涯学習・スポーツ課	159,929	
(3)	中学校施設改修事業	生涯学習・スポーツ課	126,300	
		計	1,324,911	

補足事項

1 進捗状況確認指標または重要業績評価指標(KPI)指標について

- ・①、②は、全国平均より低い部分について全国平均を目指します。
- ・③の不登校については、学校に馴染めない児童生徒の多様な場での学びも認め、個々に寄り添った対応が大切と考えますが、不登校児童生徒数の減少も一つの指標であると考え、在籍比前年度以下を目標とします。
- ・④の飯田下伊那産野菜主要10品目は、人参、ほうれん草、小松菜、ピーマン、トマト、キャベツ、キュウリ、タマネギ、ジャガイモ、アスパラガスです。市独自の指標であるため県や国の平均数値はありませんが、国が公表している「学校給食における地場産物を使用する割合」の全国平均が、H30年度26.0%であるため、令和元年度の5割を超える率は高い数値となっており、同程度以上を維持することを目標とします。
- ・⑤は、普段(月曜日～金曜日)1日10分以上読書している割合。全国平均には達しているため、県平均以上を目指します。

2 補足指標

指標(単位) 把握方法	進捗				目標
	基準 R2	R3	R4	R5	
全国学力学習状況調査国語、算数、数学の同一集団の小6から中三の伸び(全国平均差)(点)	国語 -4 算数・数学 -3 (R1)	国語±0 算数・数学 +2	国語-2 算数・数学 -1		全国平均
全国学力学習状況調査「英語(外国語)の勉強が好き」の割合(全国平均差)(点)	中 -8 (R1)	小 -8.2 中 -5.3	調査項目なし		全国平均
家で自分で計画を立てて勉強していますかの割合(全国平均差)(点)	小 -4 中 -3 (R1)	小 -5 中 -5	小 -1.0 中 -7.9		全国平均
全国学力学習状況調査でICT機器の使用頻度「ほぼ毎日」の割合(%)	小 14.1 中 7.7 (R1)	小 10.9 中 9.6	小 20.5 中 19.7		小・中 28
いじめ解消率(%)	86.6 (R1)	93.2 (R2)	85.9 (R3)		前年度以上
副学籍による交流及び共同学習の希望率(%)	小69.2 中36.0	小75.0 中46.2	小 83.8 中 40.0		前年度以上
要保護・準要保護の割合(%)	小 12.0 中 13.6 (R1)	小 12.9 中 13.4 (R2)	小 13.7 中 13.3 (R3)		目標数値は設けない
全国学力学習状況調査「人が困っている時に進んで手伝いますか」の割合(全国平均差)(点)	小 -2 中 -2 (R1)	小 ±0 中 ±0	小 ±0 中 +1		全国平均
全国学力学習状況調査「家の人と学校での出来事について話をする」「家でどのくらい日本語を話すか」割合(全国平均差)(点)	小 -2 中 +2 (R1)	小 ±0 中 ±0	調査項目なし		全国平均
郷土食、行事食の献立の回数(調理場調べ)	毎月1回以上 (R1)	毎月1回以上 (R2)	毎月1回以上 (R3)		毎月1回以上
全国学力学習状況調査「国語で目的に応じて文章を読んで考えたりしている」の割合(全国平均差)(点)	小 +1 中 -3 (R1)	小 ±0 中 +0.6	調査項目なし		全国平均

* 全国学力学習状況調査の指標は、R2年度は調査が行われなかったため、R1年度の数値を基準とします。

* ICT機器の使用頻度については、小中とも、R1年度小学校数値の2倍の率を目指すことを目標とします。

基本目標	4 豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む
戦略 (考え方)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 住民の自治の力を高め、地域の担い手を育むため、住民の主体的な「地域の自然や文化などの地域資源を生かした学習や地域の課題解決に向けた学習」を支援します。 ◆ LG(地域・地球)飯田教育の理念や地育力を活用した環境学習、ふるさと学習、体験学習等を幼児期から高校まで体系立て、子どもの主体性、創造性、社会性、協調性、課題解決力などを育み、多様な自己実現の可能性を広げます。 ◆ 飯田の価値と魅力を学び次代に繋げると共に、その素晴らしさを発信します。 ◆ 民俗芸能などの伝統文化や恒川官衙遺跡、飯田古墳群、名勝天龍峡などの地域資産を地域の宝として守り、発信します。 ◆ 誰もが安全で快適に利用できる社会教育施設の整備やサービスを向上させます。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)					
指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
① 住んでいる地区や飯田市の自然、歴史、文化等に誇りや愛着がある人の割合(%)	68.7	69.1			74.3 前期4年の基準年 H27の数値
② 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある (小中学校は全国学力・学習状況調査、高校は学びの指標)(%) 地域(社会)をよりよくするために、地域課題の解決に関わりたいと思いますか(高校生意識調査R4～)(%)	小6 55.9 (県 57) (国 54.5) 中3 40.0 (県 43.9) (国 39.4) 高 —	小6 52.6 (県 57.1) (国 52.4) 中3 48.40 (県 49.2) (国 43.8) 高 —	小6 52.3 (県 56.5) (国 51.3) 中3 39.0 (県 46.02) (国 40.7) 高 62.0		小中 県平均以上 高校R4以上
③ 人の役に立つ人間になりたいと思う (小中学校は全国学力・学習状況調査、高校は学びの指標)(%) 地域(社会)と自分のつながりや関係を意識しながら、自分の将来についてかんがえることがありますか(高校生意識調査R4～)(%)	小6 95.5 (県95.3) (国95.2) 中3 95.0 (県94.8) (国94.3) 高 —	小6 95.8 (県 95.9) (国 95.5) 中3 96.5 (県 95.4) (国 95.0) 高 —	小6 95.3 (県 95.6) (国 95.1) 中3 94.9 (県 95.3) (国 95.0) 高 52.7		小中 現状を維持 高校R4以上
④ 地域資源(指定文化財等)の活用件数	32	38			50 指定文化財数の 1/4
⑤ 霜月祭・伝統人形芝居の保存会員数	202	199			現状を維持

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業	
① 住民の主体的な学びあいの支援	
(1)	各地区の自然、歴史、文化、産業といった地域資源を活用した学習・住民の関心に応える多様な学習・地域課題の解決を目指す学習などの社会教育活動の推進や支援を行うとともに外部有識者の知見を生かした取組により主体的な学びの支援を行います。
(2)	多文化共生社会を実現するため、多様な価値観や国際感覚を養うとともに、平和学習、人権教育を推進します。
(3)	ムスぶらざで学習から実践に繋げる学習交流や創発活動を推進します。また、多様な価値観を持った人々の交流・気づき・学びから地域の将来を担う人材の育成やムスまちづくり活動を支援する取組を推進します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(2)(3)	平和学習・人権教育推進事業	生涯学習・スポーツ課	5,185	基本目標10小戦略②
(1)(2)(3)	多様な学習交流支援事業	公民館	11,869	基本目標4小戦略③④ 基本目標5小戦略① 基本目標10小戦略③ 基本目標11小戦略①
(1)(2)(3)	高校生等次世代育成事業	公民館	8,063	基本目標4小戦略②
(1)(3)	図書館事業	中央図書館	280	基本目標4小戦略③
(1)(3)	図書購入・提供事業	中央図書館	77,891	
(1)	美術博物館教育普及・活動支援事業	美術博物館	5,810	基本目標4小戦略③
(1)	歴史研究所事業	歴史研究所	17,493	基本目標4小戦略③
(2)(3)	大学とのネットワーク構築事業	大学誘致連携推進室	15,018	基本目標2小戦略③ 基本目標4小戦略②③⑥
(2)(3)	市民協働推進事業	共生・協働推進課	10,559	基本目標10小戦略①
(2)(3)	人権・男女共同参画推進事業	共生・協働推進課	3,610	基本目標6小戦略①③ 基本目標10小戦略①②
(2)(3)	多文化共生社会推進事業	共生・協働推進課	7,921	基本目標10小戦略③
		計	163,699	

② 子どもの主体性、創造性、社会性、協調性、課題解決力などを育む学習の展開

- (1) 飯田型キャリア教育を軸として、幼児期から高等教育期まで、発達段階に応じた系統的な学びを地域と学校が協働して進めます。
- (2) 地域の特色を生かした乳幼児から高校生までの子どもの学習交流活動を推進します。
- (3) ムトスぷらざにおける高校生や若者世代の創発活動の働きかけと支援を行うとともに高校生講座を実施し、外から内をみる経験を通じて地域への誇りと愛着を育み、将来を担う人材を育成します。
また、各高校の実情を踏まえ、地域人教育・学輪IIDAフィールドスタディ等、高校生の探究学習を支援し、ふるさとへの理解を深め、課題解決に向けた意欲と行動を引き出していきます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	飯田型キャリア教育推進事業	学校教育課	6,842	基本目標2小戦略② 基本目標3小戦略③
(1)(2)	地育力向上連携推進事業	生涯学習・スポーツ課	4,351	基本目標3小戦略③ 基本目標4小戦略③
(1)(2)	飯田コミュニティスクール推進事業	公民館	1,767	基本目標3小戦略③
(1)(2)	乳幼児親子学習交流支援事業	公民館	1,169	基本目標6小戦略③
(1)(2)(3)	高校生等次世代育成事業	公民館	8,063	基本目標4小戦略①
(1)(2)(3)	大学とのネットワーク構築事業	大学誘致連携推進室	15,018	基本目標2小戦略③ 基本目標4小戦略①③⑥
(1)(2)	雇用対策事業	産業振興課	3,362	基本目標1小戦略④ 基本目標2小戦略③
		計	40,572	

③ 飯田の価値と魅力の学びと発信

- 地域の自然と文化や先人の営みなどを明らかにする学術研究を学輪IIDA等の地域外の知見も活用しながら進めます。また、様々な技術を活用し魅力ある展示や講座により研究成果を地域に還元するとともに、SNSなどを活用しながら飯田の魅力として発信します。
- 歴史研究所、美術博物館、図書館、公民館等の関係機関が連携して、市民学習・研究活動を支援します。また、「伊那谷の自然と文化」の研究と地域の価値や魅力を次世代に繋げる新たな人材の育成を、研究団体とともに進めます。
- 考古博物館の魅力と機能を向上させるため、展示の更新、考古資料ブースを開設するとともに、考古博物館と史跡現地をつなぐ体験型の学習機会、考古資料情報を提供できるようにします。
- (4) 各地区公民館における地域資源などを活用した郷土学習・課題学習を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(2)	地育力向上連携推進事業	生涯学習・スポーツ課	4,351	基本目標3小戦略③ 基本目標4小戦略②
(1)(2)(3)	文化財保護事業	文化財保護活用課	35,572	基本目標4小戦略④⑤
(2)(4)	多様な学習交流支援事業	公民館	11,869	基本目標4小戦略①④ 基本目標5小戦略① 基本目標10小戦略③ 基本目標11小戦略①
(2)	図書館事業	中央図書館	280	基本目標4小戦略①
(1)(2)	美術博物館教育普及・活動支援事業	美術博物館	5,810	基本目標4小戦略①
(1)(2)	美術博物館展示公開事業	美術博物館	9,543	基本目標5小戦略②
(1)(2)	美術博物館プラネタリウム運営事業	美術博物館	8,324	
(1)(2)	歴史研究所事業	歴史研究所	17,493	基本目標4小戦略①
(1)(2)	大学とのネットワーク構築事業	大学誘致連携推進室	15,018	基本目標2小戦略③ 基本目標4小戦略①②⑥
		計	108,260	

④ 伝統文化、文化財の保存・継承・活用の推進

- 「遠山の霜月祭」のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組、「旧小笠原家書院」建築400年等を契機とした地域振興など、地域・保存団体主体による伝統文化や文化財の保存・継承活動、文化財等を活用した取組を支援します。
- (2) 国史跡の確実な保存・継承、その価値や魅力を市内外へ発信できるようするため、恒川官衙遺跡ガイドンス施設の実設計、飯田古墳群の実態を把握する確認調査に取り組みます。
- 国史跡、名勝をはじめ、伝統文化、文化財の価値や魅力、地域の歴史文化を知って愛着を持っていただけるように、調査研究成果の公開・学習会、文化財等に親しむ体験会や魅力発信に、地域・保存団体等と連携・協働して取り組みます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	文化財保護事業	文化財保護活用課	35,572	基本目標4小戦略③⑤
(3)	埋蔵文化財調査事業	文化財保護活用課	60,099	基本目標4小戦略⑤
(2)(3)	飯田古墳群保存活用事業	文化財保護活用課	1,500	
(2)(3)	恒川遺跡群保存活用事業	文化財保護活用課	18,838	
(1)(3)	多様な学習交流支援事業	公民館	11,869	基本目標4小戦略①③ 基本目標5小戦略① 基本目標10小戦略③ 基本目標11小戦略①
(1)(3)	人形劇のまちづくり事業	文化会館	52,259	基本目標5小戦略①
(3)	上村山村文化資源保存伝習施設管理運営事業	美術博物館	3,206	
(3)	南信濃民芸等関係施設管理運営事業	美術博物館	4,855	
(1)(3)	美術博物館資料調査研究・収集保管事業	美術博物館	15,760	
		計	203,958	

⑤ 社会教育施設の整備、サービス向上

- (1) 地域コミュニティの拠点である公民館や、美術博物館、図書館など社会教育施設を飯田市教育委員会施設等総合管理計画に基づき計画的な改修・整備を進めます。
- (2) 利用者の利便性向上や事務の省力化を図るため、デジタル技術の整備・活用の研究を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	文化財保護事業	文化財保護活用課	35,572	基本目標4小戦略③④
(2)	埋蔵文化財調査事業	文化財保護活用課	60,099	基本目標4小戦略④
(1)(2)	公民館維持管理事業	公民館	211,312	基本目標2小戦略②
(1)	公民館改修事業	公民館	67,040	
(2)	文化会館等管理運営事業	文化会館	80,596	
(1)(2)	図書館管理運営事業	中央図書館	105,873	
(1)(2)	美術博物館管理事業	美術博物館	174,608	基本目標13小戦略④
		計	735,100	

⑥ 大学の機能を活かした学びの推進と「大学のあるまち」の実現に向けた取組

学輪IIDA等の大学連携により飯田に集まる多様な地域外の知を、高校生の学びに活かす高大連携の

- (1) 取組や、地域で生まれ蓄積されてきた知とつなげる域学連携の取組等、幅広い皆さんが学び合い、交流できる機会を創出することで人材育成を進めます。
- (2) 飯田と関係性を持った大学生の学びや活動をサポートする「大学連携コーディネーター(仮称)」を配置し、大学・大学生と地域との橋渡しを行うとともに、大学生の関係人口づくりに取り組みます。
- (3) 地域の高等教育機関に通う学生の学び、暮らし、就職等の環境充実に向けた支援を行います。
- (4) 飯田下伊那地域への4年制大学の設置を目指す信州大学新学部誘致推進協議会と連携し、誘致活動及び大学との連携体制の構築、将来を見据えた「大学のあるまち」の実現に向けた取組を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	大学とのネットワーク構築事業	大学誘致連携推進室	15,018	基本目標2小戦略③ 基本目標4小戦略①②③
(4)	大学設置活動推進事業	大学誘致連携推進室	4,000	
		計	19,018	

補足事項

指標や事務事業に関すること

①住民の主体的な学びの支援

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
社会教育関係団体数	1,145	1,122			現状維持
市民主体の各種講座・学級・教室への参加者数	45,562 (R1)	22,565			現状維持
地域の研究団体等調査支援数	調査中	6			—
市民意識調査 住んでいる地域や周辺に他地域から移住者(外国人を含む)が来ることについてどう考えますか (「積極的に受け入れる」「どちらかと言えば受け入れる」と回答した割合)(%)	79.4	84.1			80

②子どもの主体性、創造性、社会性、協調性などを育む学習の展開

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
各種講座や学習活動への参加者数 (乳幼児・子ども対象・CS事業)	18,060 (R1)	24,712			現状維持
今住んでいる地域の行事に参加している (全国学力・学習状況調査)(%)	小6 88.2 (県89.5) (国68) 中3 73.4 (県70.5) (国50.6)	小6 86.0 (県83.7) (国58.1) 中3 65.44 (県64.0) (国43.7)	小6 82.8 (県80.4) (国52.7) 中3 58.7 (県59.7) (国40.0)		小6 93 中3 78

③飯田の価値と魅力の学びと発信

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
飯田の価値と魅力の情報発信数	830 (R1)	682			840 H29～R1の平均
美術博物館来館者数	44,442 (R1)	36,790			45,000
収蔵物や地域所在の資料を調査研究し発表した件数	217 (R1)	140			220 現状維持
調査研究に関する市の刊行物及び発表した論文数	20 (R1)	22			20 現状維持
地域を学ぶ専門的な講座参加者数	8,806 (R1)	4,627			現状維持
考古博物館を利用した文化財活用の取組(回数)	—	4			7

④伝統文化、文化財の保存・継承・活用の推進

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
指定文化財数(累計)	191	192			200
史跡名勝を活用したツアー(人・回)	20・1	75・1			60・3
霜月祭の保存伝承活動回数	90	47			現状維持
伝統人形芝居の保存伝承活動回数	9	3			現状維持

⑤社会教育施設の整備、サービス向上

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
社会教育施設の利用者数	957,028 (R1)	599,002			1,000,000 H30年の利用者数
長寿命化及び機能向上の改修事業数(累計)	0	14			60



基本目標	5 文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる
戦略 (考え方)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 人形劇の公演・創造活動を楽しみ、その魅力を発信するとともに、「人形劇のまち」を改めて強くアピールし、国内外との交流を進めます。 ◆ 多様な文化芸術の鑑賞機会や文化芸術活動の取組の充実を進めます。 ◆ 飯田市の文化芸術活動の拠点施設としての新文化会館の建て替えに向けた検討を進めます。 ◆ 市民の様々なスポーツ活動を支援し、発信するとともに、スポーツや運動習慣の定着と、スポーツを通じたコミュニティづくりを進めます。また、飯田市の特徴を活かしたスポーツイベントを開催します。 ◆ トップアスリートの指導やプレーに触れる機会、スポーツ指導者の育成などを通じて、競技スポーツ人口を拡大し競技志向を高めます。また、地域でトップアスリートを育てることが出来る取組を目指します。 ◆ 全市型競技別スポーツスクールなど中学生期におけるスポーツの多様な選択肢を充実します。 ◆ 誰もが安全で快適に利用できるスポーツ施設の整備やサービスを向上させます。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)					
指標(単位) 把握方法	基準		進捗		目標
	R2	R3	R4	R5	R6
① 市内で上演した人形劇公演数	16	146			500
② 人形劇を通じて交流した国内外の交流数(回)	3	3			15
③ 文化活動を1回以上行っている人の割合(%) ※市民意識調査による。音楽、演劇、映画、文学、茶道などの活動・鑑賞を年1回以上行った人の割合	42.2	36.3			50.0
④ 社会教育団体(文化・芸術・芸能活動)申請登録会員延べ数(人)	7,692	7,277			8,000
⑤ 成人の週1回以上運動・スポーツに親しむ人の割合(%) ※市民意識調査	48	51.6			53 (R1全国平均)
⑥ 子どもの体力・運動能力調査におけるA・Bの割合(%)	38.5 (R1) R2未実施	36.8			全国値以上 (R1:43.2)
⑦ 全市型競技別スポーツスクールの種目数	13	15			16
⑧ 運動・スポーツをする以外に、見たり、大会運営等に関わっている人の割合(%) ※R4新規	-	48.1			50

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① 「人形劇のまちづくり」の推進

- (1) 「みんなの笑顔 まつとるに」今年こそは、いっぱい笑顔に会いたい!」をテーマにしたい人形劇フェスタの開催を支援します。
- (2) 年間を通じて人形劇を観劇する機会、竹田人形館及び川本人形美術館での鑑賞や体験の機会を提供します。
- (3) 学校・保育園等で行われる人形劇活動や、市民が演じることを楽しむ創造活動を支援します。
- (4) AVIAMA(人形劇の友・友好都市国際協会)の活動への参画や、友好都市である仏シャルヴィル・メジュール市との小学生交流を実施するとともに、その取組を広く発信していきます。
- (5) 伝承されている人形浄瑠璃を保存、継承するための活動を支援します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)(4)(5)	人形劇のまちづくり事業	文化会館	52,259	基本目標4小戦略④
(2)	竹田人形館管理運営事業	文化会館	10,473	
(2)	川本人形美術館管理運営事業	文化会館	31,483	
(5)	多様な学習交流支援事業	公民館	11,869	基本目標4小戦略①③④ 基本目標10小戦略③ 基本目標11小戦略①
		計	106,084	

② 文化・芸術の鑑賞や市民の主体的な文化芸術活動の展開を支援

- (1) 「菱田春草」をはじめとした地元ゆかりの作家の作品の魅力を紹介します。
- (2) あらゆる年代の市民が多様な舞台芸術を鑑賞できる機会をつくれます。
- (3) 市民が取り組む舞台芸術の創造活動を支援します。
- (4) オーケストラと友に音楽祭、伊那谷文化芸術祭など市民が舞台芸術を鑑賞し、自ら発表できる場づくりを支援します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	美術博物館展示公開事業	美術博物館	9,543	基本目標4小戦略③
(2)(3)(4)	文化会館文化芸術事業	文化会館	21,802	
		計	31,345	

③ 新たな文化芸術活動の拠点づくり

- (1) 新文化会館の建設に向けて、市民参加による構想・計画づくりを進めるとともに、建設適地の検討を行います。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	文化施設整備事業	文化会館	10,011	
		計	10,011	

④ 市民のスポーツ活動・コミュニティづくりの支援、スポーツイベントの開催

- スポーツ推進委員会を中心に、公民館等と連携して各種ニュースポーツを推進するとともに、運動習慣の定着に向けたウォーキングの推進や、障がい者や高齢者を含めた多世代が地域で交流できるポッチャの普及にも取り組みます。
- (1) 運動好きの子どもを増やし、体力・運動能力の向上を図るため、園児や保護者を対象としたコーディネーショントレーニングを実施するとともに、小学校を中心にした一校一運動に取り組みます。
- (2) 多くの市民が参加しスポーツを楽しむ機会になるよう飯田やまびこマーチや風越登山マラソン大会を実行委員会方式で開催します。
- (3)

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	市民スポーツ推進事業	生涯学習・スポーツ課	6,503	
		計	6,503	

⑤ 競技スポーツ人口の拡大と競技志向の向上

- (1) 競技スポーツへの関心を高めるため、飯田市スポーツ協会や民間スポーツクラブと連携してスポーツ教室等を開催し、一流のプレーに触れ交流・指導を受けられる機会を提供します。
- (2) 飯田市スポーツ協会や民間スポーツクラブが中心となって行う各競技団体の活動や指導者育成の取組を支援します。
- (3) 競技スポーツへの関心を高めるため、全国や県の大会等での地元選手の活躍を激励し、ホームページ等で広く市民に発信します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	競技スポーツ振興支援事業	生涯学習・スポーツ課	7,884	
		計	7,884	

⑥ 学校部活動の地域移行を見据えた体制づくり

- (1) 全市型競技別スポーツスクールや文化講座等を開催し、中学生が地域における文化・スポーツ活動に参加できる機会を提供していきます。
- (2) 中学生が多様な文化・スポーツ活動に取り組めるよう、学校、関係団体等と協議検討する場を設け、将来を見据えた体制づくりを地域ぐるみで進めます。
- 生徒がウェルビーイング(体も心も良好な状態)を感じ主体的に取り組む部活動としていくため、部活動運営や、部活動を行わない「冬季ジブン・チャレンジ期間」の過ごし方を話し合い考え合う取組を各学校で進めます。
- (3)
- (4) 中学校部活動については、「飯田市中学校部活動の活動指針」に基づき、活動時間の適正化など、生徒の心身の健康に配慮した活動となるように取り組みます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)(4)	文化・スポーツ活動の体制整備事業	生涯学習・スポーツ課	6,651	
		計	6,651	

⑦ スポーツ施設の整備、サービス向上

- (1) テニスコートの夜間照明など、教育委員会施設等総合管理計画に基づき、体育施設の改修整備を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	体育施設等維持管理・整備事業	生涯学習・スポーツ課	598,211	基本目標12小戦略⑤
		計	598,211	

補足事項

補足指標

①「人形劇のまちづくり」の推進

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
人形劇フェスタ参加証の販売数	12,028(R1)	4,062	2,321		12,500
飯田で上演した人形劇の観劇者数	1,234	8,485			18,000
川本人形美術館の入館者数	5,808	6,510			20,200
竹田人形館の入館者数	1,484	1,656			3,800

②文化・芸術の鑑賞や市民の主体的な文化芸術活動の展開を支援

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
美術博物館の展覧会、市民ギャラリーの観覧数	49,758(R1)	38,072			50,000
舞台芸術の鑑賞会実施回数及び市民の文化芸術発表会の実施回数	17	18			70

④市民のスポーツ活動・コミュニティづくりの支援、スポーツイベントの開催

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
飯田やまびこマーチの市民参加者数	3,847(R1)	中止(R2)	468(R3)		4,000
風越登山マラソン大会の市民参加者数	268(R1)	中止(R2)	中止(R3)		500
スポーツ推進委員の活動回数(講習会指導等)	135(R1)	59(R2)	67(R3)		150

⑤競技スポーツ人口の拡大と競技志向の向上

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
スポーツ講習会参加者数	3,934(R1)	1,205(R2)	2,528(R3)		4,500
スポーツ大会参加者数	13,905(R1)	7,335(R2)	11,084(R3)		15,000

⑦スポーツ施設の整備、サービス向上

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
体育施設年間利用者数(人)	448,615(R1)	277,984(R2)	324,394(R3)		460,000
長寿命化及び機能向上の改修事業数(累計)	0	17			53



基本目標	6 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
戦略 (考え方)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 結婚し家庭を持ちたい希望の実現に向けて、各種の出会いの機会の創出を図るとともに、結婚相談などのサポートを強化します。 ◆ 産み育てたいと思う子どもの数の希望の実現に向けて、分娩の選択肢の多様化に伴う体制の整備や産後ケアの充実を図るとともに、不妊治療に対する助成を強化します。 ◆ 児童虐待の予防・早期発見・総合的支援を行うとともに、発達に偏りのある児童の子育て相談支援を充実します。 ◆ コロナ禍において一層懸念される「孤」育てを解消するため、父親、祖父母などの家族をはじめ、地域のあらゆる世代が地域の子育てに参加できる仕組みづくりを推進するとともに、家族みんなで楽しむ子育て情報発信の強化を図ります。 ◆ 産休・育休後の職場復帰の希望の実現に向けて、事業所における働き方改革を促します。 ◆ 共働き世帯・ひとり親世帯が安心して子育てできるよう、多様な手法を活用しつつ3歳未満児保育・保育標準時間の充実を図るとともに、スタッフの人材の確保と育成を推進します。 ◆ 豊かな自然や地域資源を活用してたくましい心と体・自己肯定感と協調性を育む「いいだ型自然保育」の魅力を発信します。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
① 婚姻件数(件)	470 (R1)	409 (R2)	389 (R3)		500
② 出生数(人) (※1)	726 (R1)	654 (R2)	687 (R3)		700
③ 合計特殊出生率	1.75 (R1)	1.64 (R2)	1.63 (R3)		1.84
④ 乳幼児健診・乳幼児相談の受診率(%) (※2)	95.8 (R1)	96.4 (R2)	97.0 (R3)		98.0
⑤ 産後の指導・ケアを十分に受けることが出来たと回答する人の割合(%)	93.4 (R1)	92.7 (R2)	92.4 (R3)		95.0
⑥ 未満児保育(0-2歳児)の受入れ数(人) [毎年12月末日現在]	1,256	1,210	1,162		1,294
⑦ 信州やまほいく認証施設数(園)	23	23	25		25
⑧ 産みやすいまちだと思ふ人の割合(%)	36.60 (R1)	44.0 (R2)	40.3 (R3)		50.0
⑨ 育てやすいまちだと思ふ人の割合(%)	69.70 (R1)	71.60 (R2)	71.2 (R3)		75.0

小戦略(具体的な取組)及び戦略的業務事業

① 結婚の希望をかなえる

- (1) 結婚したいと思う若者の自分磨きを支援するとともに、地域でのマッチングイベントや移住を希望する方を対象とした出会いの機会を創出し、婚姻件数の増加を目指します。
- (2) 出会いの創出から成婚までを担う結婚相談員のお見合いを中心とした活動を支援します。
- (3) 新たに婚姻した世帯の新生活を経済的に支援するため、新居の住宅取得費又は賃借料等を補助します。
- (4) 近い将来、進学や就職などの大きな選択をする地域の高校生に、今後の生き方について考えてもらうライフデザインの啓発事業を実施します。

小戦略 (番号)	業務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)(4)	ともに未来を支え合うパートナーづくり事業	子育て支援課	27,297	
(4)	人権・男女共同参画推進事業	共生・協働推進課	3,610	基本目標4小戦略① 基本目標6小戦略③ 基本目標10小戦略①②
		計	30,907	

② 出産の希望をかなえる

- (1) 子どもを希望する方が、早い時期から心身の相談をしやすいうように、オンラインでの相談もできる環境を整えけるとともに、相談日や助成についての情報提供を行います。
- (2) 不妊・不育治療(保険適用)による精神的・経済的な負担の軽減を図るため、治療に関して年齢制限は設けず、1人が申請できる回数についても市独自の設定で支援を継続します。
- (3) 悩みや不安が多い妊娠期から産後にかけて相談しやすい体制や支援を整え、育児の負担と不安軽減につなげるための伴走型相談支援と、出産・子育て応援給付金を合わせて実施します。
- (4) 地域での分娩機能を堅持するとともに、市民に対し健診や分娩ができる産科医療機関や助産院についての情報提供を行います。
- (5) 先天性難聴等の早期発見を目的として行う新生児聴覚検査に係る費用を助成し、全ての新生児が検査を受けることができる環境を整えます。

小戦略 (番号)	業務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	不妊治療費助成事業	保健課	16,163	
(3)	妊産婦健診事業	保健課	96,179	
(3)(5)	乳幼児保健事業	保健課	19,803	
(3)	出産子育て応援事業	保健課	185,449	基本目標8小戦略②
(4)	市立病院運営事業	経営企画課	16,663,000	
		計	16,980,594	

③ 孤立を防ぎ、子育ての希望をかなえる

- 「こどもまんなか社会」の実現に向けて、母子保健と子育て支援の一体的相談支援体制の構築に取り組み、児童虐待や子育ての行き詰まりをより効果的に予防し、早期発見・早期対応に努めます。また、障害福祉事業や教育機関等と連携し、妊娠期から就労期への途切れない発達支援を推進します。
- (2) 普段から利用している地域子育て支援拠点(つどいの広場)で、こどもの「一時預かり」を利用できるようにし、日々の生活に対応したきめ細かなサービス体制を構築することで、子育て負担を軽減します。
- (3) “いい育児の日(11月19日)”に開催される子育て応援フェスティバルや県の「子育て川柳」を活用するなど、市民、地域、事業所へ向けて子育てや働き方に関する意識啓発を進めます。

- ヤングケアラー支援コーディネーターやこどもの未来応援コーディネーターの新たな設置や相談窓口の充実を図り、生活困窮家庭の子育てやヤングケアラーなど、こどもを巡る様々な課題を把握するとともに、課題解決に向け、子育て世帯訪問支援や専門機関への接続などの支援を行います。また、ひとり親世帯などの子どもたちの進学希望をかなえるため、関係団体が取り組む学習支援活動を支援します。
- (4)

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(4)	こども家庭センター事業	こども家庭課	54,212	基本目標8小戦略②
(1)(3)	地域子育て支援事業	子育て支援課	101,684	基本目標8小戦略②
(4)	ひとり親家庭等福祉推進事業	こども家庭課	18,185	
(1)	児童発達支援センター事業	こども家庭課	90,561	
(2)	乳幼児親子学習交流支援事業	公民館	1,169	基本目標4小戦略②
(4)	人権・男女共同参画推進事業	共生・協働推進課	3,610	基本目標4小戦略① 基本目標6小戦略① 基本目標10小戦略①②
(4)	生活困窮者支援事業	福祉課	56,253	基本目標8小戦略②
		計	325,674	

④ 飯田の持ち味を活かし、豊かな育ちを支える

- (1) 乳児・3歳未満児保育など多様な保育ニーズに応えるため、「子ども・子育て支援新制度」などを活用しながら保育施設整備を推進します。また、保育人材の確保に向けて、地域内外の有資格者への積極的な呼びかけに加え、県外の養成校へ出向き、保育人材のU・Iターンを促進するとともに、飯田短期大学との連携を図ります。
- (2) 豊かな自然や地域資源を活用し、心と体の発達に加えて、自己肯定感と協調性を育む「いいだ型自然保育」の取組を推進するとともに動画情報などを発信し、子育て環境としてのブランド化を進めます。
- (3) 庁内の連携体制強化を図りつつ、遠山地域の2園による自然保育や交流活動を一層推進し、保育の存続に向けた取組を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	民間保育所特別保育事業	子育て支援課	189,529	
(1)	民間保育所等施設整備事業	子育て支援課	247,023	
(1)	保育士等人材確保支援事業	子育て支援課	32,918	
(2)(3)	公立認定こども園管理運営事業	子育て支援課	777,251	基本目標2小戦略①
		計	1,246,721	

基本目標	7 「市民総健康」と「生涯現役」をめざす
戦略 (考え方)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 市民一人ひとりが、心身ともに健やかに暮らすために、市民(個人・家族)、地域(団体・機関等)、行政(専門職)等の多様な主体が一緒になって役割を発揮し、健康長寿のまちをつくります。 ◆ 若い世代や働き盛り世代において生活習慣病の重症化予防に取り組むほか、口腔衛生(お口の健康)の強化や健康ポイント制度の導入、また高齢者の多様な社会参加を促すなど健康増進に効果的な取組を強化し、人生100年時代を生き生き暮らす「幸」齢社会をつくります。 ◆ 健康寿命が延伸されるまちづくりに向け、第8期介護保険計画の下、介護予防に一層力を入れるとともに、必要な方に介護サービスが届くよう努めます。 ◆ 新型コロナウイルス感染症等の蔓延により当地域の医療崩壊を招かないよう、医療機関と連携し、検査・医療体制の維持と充実を図ります。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標(KPI)

指標(単位) 把握方法		基準	進捗			目標
		R2	R3	R4	R5	R6
①	国民健康保険加入者の特定健診受診率(%) (※1)	31.7	41.0			50.0
②	企業等に行う出前健康講座の新規団体の件数(企業)	1	5			20 (累計)
③	要介護認定者数・出現率(※2)	6,148人 18.73%	5,978人 18.16%	5,890人 17.96%		6,490人 19.83%
④	健康寿命(※3)(歳)	男	80.93 (R1)	80.49 (R2)	82.62 (R3)	前年を上回る健康寿命の延伸
		女	84.50 (R1)	84.49 (R2)	84.50 (R3)	

補足事項

※1 特定健診受診率の確定は次年度の10月になるため、基準年度はR元年度とし、目標年度をR5年度とします。
 ※2 要介護認定者数・出現率のR6目標値は高齢者福祉計画・(第8期)介護保険事業計画にある令和7年推計値であり、それ以下に抑制することを目標とします。
 ※3 健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間。前後3年間の平均で確定値を算出しています。

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① 新型コロナウイルス感染症対策の推進
<p>(1) ワクチン接種について、国の方針に沿って適切に対応します。</p> <p>(2) 地域外来・検査センターの運営について、県や関係機関と連携して適切に対応します。</p> <p>(3) 重症化するリスクの高い高齢者や基礎疾患がある方、介護医療福祉事業に従事する者が受ける抗原定量検査への助成の回数を増やし、医療負担の軽減と社会・経済活動の維持に寄与します。</p> <p>(4) 社会福祉施設に対し、集団感染のリスクを回避するため、検査キットや感染策用防護具(PPE)等の衛生資材購入費用の一部を補助します。</p>

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	新型コロナウイルス感染症予防接種事業	保健課	3,057	
(2)	地域外来・検査センター事業	保健課	8,910	
(3)	新型コロナウイルス感染症検査補助事業	保健課	3,884	
(4)	社会福祉施設等支援事業	長寿支援課	72,100	
		計	87,951	

② 働き盛り世代からの健康づくり

- 自覚症状なく進行する生活習慣病の発症・重症化を予防するために、特定健診の受診率を積極的に向上させ、継続受診につながるよう受診勧奨を実施します。また、かかりつけ医からの健診受診勧奨や検査結果データの提出を依頼していきます。
- 特定保健指導・重症化予防対象者へ継続的な保健指導を実施します。高血圧の有所見者割合が高いことから、高血圧の重症化予防対象者に重点を置いて実施します。また健診受診者全員に尿中塩分測定を実施し、個々の生活実態に沿った保健指導を行います。
- 生活習慣病健診の受診機会がない39歳以下の健診を新設します。併せて個別相談や事業主健診検査機関と連携した保健指導を行います。
- 若年層の健康実態や、青壮年期の健康課題である「肥満」について市民へ周知するとともに、企業への出前健康講座にこの内容を取り入れます。また新たな企業への出前健康講座の拡大に取り組みます。
- 歯と口の健康への関心や意識を高めるため、40歳無料歯科検診の受診勧奨や未受診の理由等の把握を行います。新たに母子手帳交付時には、妊娠中の歯科受診勧奨と受診状況の把握を行います。また、歯周疾患スクリーニング(生活歯援プログラム)を健診等でモデル的に実施し、より定期受診につながりやすい取組について関係機関と連携し、調査研究します。
- コロナ禍による影響を受けた市民の健康を取り戻すため、国保データベースシステム(KDB)を活用し、飯田市及び地区の健康課題をまちづくり委員会等と共有し、健康教室等の活発化へつなげていきます。
- 女性のがん罹患率第1位であり、40歳代前半から急増する乳がんについて、がん検診受診と合わせてプレストアウェアネス(乳房を意識する生活習慣)の周知に取り組んでいきます。また、若い年代の受診率向上のため、乳がんと子宮頸がん検診をセットにした健診日(婦人科セット検診)の設定等受けやすい環境を整えるよう関係機関と調整し実施していきます。また、新たにかん患者さんの社会参加促進のためピアアランスケア医療用補正具の一部助成を始めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	国民健康保険特定健康診査・特定保健指導事業	保健課	59,793	
(3)(4)(5)	市民の健康づくり事業	保健課	4,892	
(6)	健康福祉委員等活動事業	保健課	2,897	
(7)	がん治療助成事業	保健課	983	
(7)	健康診査事業	保健課	90,504	
		計	159,069	

③ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

- (1) 後期高齢者の医療、健診、介護データ分析から、脳血管疾患の有病割合が県平均より高いという結果を受けて、この原因疾患となる高血圧や糖尿病予防の教室や保健指導を実施します。
- (2) 受診率向上の取組として、介護保険未利用の76歳と、昨年度国保特定健診受診者のうち75歳になった方へ、受診券を送付し受診勧奨を行います。
- (3) 後期高齢者健診を受診した者に対し、継続した保健指導を行い、生活習慣病重症化予防に取り組みます。
高齢者に対しては、通いの場へ保健師、栄養士、歯科衛生士が出向きフレイル予防教室を実施し、様々な年代の利用がある公民館等にはフレイル予防のためのポスターの掲示や情報提供を行うことで、多くの人に対して普及啓発を図ります。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)(4)	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業	保健課	24,950	
(4)	高齢者健康づくり事業	保健課	9,358	
		計	34,308	

④ 介護予防(重度化防止)の推進と介護人材の確保

- (1) 地域包括支援センターを1か所増設し、身近な環境で高齢者の総合相談対応ができる体制を整えます。また、市と地域包括支援センターとの連携を強化し、初期相談対応と軽度者(要支援者・総合事業対象者)の自立に向けた支援を充実します。
リハビリ専門職等がプログラム提供する短期集中通所型サービスC事業を継続実施し、対象となる軽度者(要支援者・総合事業対象者)の生活機能の回復を目指します。また、通所による利用が困難な場合においては訪問により同事業を実施します。
- (2) これまでモデル地区において進めてきた「通いの場」の再構築を他の地区へ展開し、フレイル予防(介護予防)の意識醸成を図ります。また、通いの場への参加促進を目指して、高齢者の健康ポイント事業を開始します。
- (3) 要介護・要支援の認定を受けた高齢者等への良質な介護サービスの提供体制を維持するため、必要な人材の確保や定着につながるよう、研修会の開催や職員研修に係る支援に取り組みます。また、介護資格を持たない介護職員の就労支援など、人材不足を補う取り組みを検討します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(3)	基幹・地域包括支援センター運営事業	長寿支援課	185,179	基本目標8小戦略②
(2)	介護予防・生活支援サービス事業	長寿支援課	326,565	
(3)	地域介護予防活動支援事業	長寿支援課	4,270	
(4)	介護人材確保対策事業	長寿支援課	651	
		計	516,665	



基本目標	8 共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる
戦略 (考え方)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域共生社会の実現を目指して、地域住民や多様な主体と協働で地域福祉を進めます。 ◆ 横断的な課題や現在の福祉制度の狭間の課題に対して、丁寧な対応ができる包括的な支援体制を構築し、必要とする支援につなげ、課題解決に向けて取り組みます。 ◆ 障がい者の社会参加を進めると共に、誰もが暮らしやすい社会を目指してユニバーサルデザインを推進します。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)					
指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
① 創出される地域福祉活動のモデル数	45	55			85
② 地域福祉課題検討会開催地区数(地区)	13	12			20
③ 重層的支援相談対応延べ件数(件)	-	604			800
④ 家庭訪問件数(上記③の内数)(件)	-	60			150
⑤ 障がい者の社会参加を促進する事業への参加者数(人)	600	600			1,000

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業				
① 地域福祉活動の推進				
<p>(1) 地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づき、多様な主体による地域福祉活動を推進します。</p> <p>(2) 地域福祉コーディネーターを増員するとともに、定期的な研究や研修を実施し、各地区住民の主体的な福祉課題の洗い出しや課題解決に向けた取組を支援します。</p> <p>(3) 地域の福祉課題解決に向け、新たに創出される地域福祉活動を、地域住民が主体的に推進できるよう、他地域の取組を紹介するなどの先進事例の横展開を含めた地域福祉コーディネーターによる支援を強化します。</p> <p>(4) 地域での見守り・支え合い活動を進めるために、住民支え合いマップの整備を進め、地域の見守り体制を強化します。</p>				
小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)(4)	地域福祉推進事業	福祉課	109,299	基本目標8小戦略②
(1)(2)	社会福祉推進事務	福祉課	17,136	
(1)(2)(4)	福祉委員活動事業	福祉課	43,078	
		計	169,513	

② 複合化・複雑化した課題解決に向けた重層的支援体制の構築

- (1) 「福祉まるごと相談窓口」の相談機能を充実させるとともに、相談支援機関と連携を図り、包括的に受け止める体制を強化します。
- 複雑化・複合化した課題を抱えながらも必要とする支援やサービスが届いていない人を把握し、時間をかけた丁寧な働きかけにより信頼関係を構築するなど、アウトリーチ[※]を通じて継続的に支援します。
[※]アウトリーチ:必要な支援が届いていない人に支援を届けるための様々な働きかけのこと
- (2) 既存の制度や支援では対応できない個別ニーズがある人の現状や課題を把握し、その人の状況に適したサービスを提供することで、社会参加やつながりづくりを支援します。
- 高齢者、障がい者、子ども分野において、ニーズはあるものの既存の制度や支援を利用できない人、あるいは、制度や支援を利用するまでに期間が空いてしまう人のニーズに対応し、生活支援サービスを提供する団体等の活動を支援します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	重層的支援体制整備事業	福祉課	24,914	
(1)(2)	生活困窮者支援事業	福祉課	56,253	基本目標6小戦略③
(1)(2)(3)	こども家庭センター事業	こども家庭課	54,212	基本目標6小戦略③
(1)(2)	地域子育て支援事業	子育て支援課	101,684	基本目標6小戦略③
(1)(2)	出産子育て応援事業	保健課	185,449	基本目標6小戦略②
(1)	障害福祉推進事業	福祉課	64,832	基本目標8小戦略③
(1)	基幹・地域包括支援センター運営事業	長寿支援課	185,179	基本目標7小戦略④
(3)	地域づくり・地域リハビリテーション推進事業	福祉課	44,643	基本目標8小戦略③
(3)(4)	地域福祉推進事業	福祉課	109,299	基本目標8小戦略①
		計	826,465	

③ 障がい者の社会参加の推進

- (1) 障がい者文化芸術作品展や参加型イベント、パラスポーツ体験等、障がいのある人とない人が地域で交流する機会を拡大し、市民の障がいに対する正しい理解を深め、共生社会の実現を図ります。
- (2) 誰もが安心して外出するために必要な情報を入手できるように、バリアフリートイレの機能や経路に関する情報収集を行い、デジタル技術を活用した情報提供を行います。
- (3) 障がい者の就労について、わかりやすく利用しやすい相談や情報提供の仕組みを、関係機関と連携して研究します。
- (4) 障がい児者のニーズを適切に把握し、より効果的な施策を構築し、それらを反映した障がい者計画・障害(児)福祉計画を策定します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)(4)	障害福祉推進事業	福祉課	64,832	基本目標8小戦略②
(1)(2)	地域づくり・地域リハビリテーション推進事業	福祉課	44,643	基本目標8小戦略②
(3)	障害福祉サービス等給付事業	福祉課	2,531,323	
		計	2,640,798	

基本目標	9 20地区が輝く生き活きとした地域づくりを地域主体に進める
戦略 (考え方)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 20地区の基本構想と基本計画の実現に向けて、それぞれの地区が個性を生かして魅力的な地域をつくる取組を支援します。 ◆ コロナ禍を乗り越え、時代の変化に対応していくための自治活動組織の改革改善の取組を支援します。 ◆ 地域課題への対応や地域の魅力づくりに取り組む運営組織の立ち上げと活動を支援します。 ◆ 地域の担い手を確保し活力を維持するため、関係人口と移住・定住人口を拡大する「20地区田舎へ還ろう戦略」を推進します。 ◆ 中山間地域が持続的で元気ある地域であり続けるための取組を、地域と行政の協働により進めます。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
① 中期期間中に地区基本構想・基本計画の改定・見直しを行った地区数(地区)	—	2	8 (累計)		12 (累計)
② 中期期間中に新たにまちづくり委員会の組織・事業の見直しを行った地区数(地区)	—	17	15		20
③ まちづくり委員会が関わる地域運営組織数(特別委員会、NPO等、任意組織)	46	62	76		50
④ 自治活動組織への加入率(%)	71.3 (R1)	70.4 (R2)	69.2 (R3)		73.0
⑤ 中期期間中に加入促進コーディネーター活動で自治活動組織への加入に至った件数(件)	—	233	435 (累計)		840 (累計)
⑥ 「飯田市20地区応援隊」の寄附件数(件)	51 (R1)	57 (R2)	66 (R3)		60
⑦ 「20地区田舎へ還ろう戦略」により5人以上の移住者の誘致が実現した中山間地区数(地区)	—	2	3 (12月末) ※累計		7

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① 「みんなのことはみんなでやる」地域づくりを地区と共に進めます
<ul style="list-style-type: none"> (1) 地区基本構想の実現に向けて、パワーアップ地域交付金の有効性を高めながら具体策を展開し、魅力的な地域づくりを進めます。 (2) まちづくり委員会において、地区の実情を把握し、現状に即した組織改編を進め、役員の負担感の軽減を図り、次世代に繋がる自治力の維持、向上を図ります。 (3) ウィズコロナ社会の新しい生活様式を確立させながら、時代に即した自治活動や地域の課題解決に取り組みます。 (4) 人と人との結びつきが感じられる生活スタイルの実現に向けて、共有する気持ちや助け合いが生まれる地域づくりに努めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(2)(3)	地域自治組織運営事業	地域自治振興課	3,429	
(1)(4)	地域自治組織助成事業	地域自治振興課	119,536	
		計	122,965	

② 住んでよしの地域づくりで田舎回帰の風を捉えます

- (1) 「田舎へ還ろう戦略」について20地区それぞれが主体となり地区の魅力づくりを進め、各自治振興センターと関係部署が情報共有し、支援・推進を図ります。
- (2) 地区の地域資源を活用した取組を発信し、交流・関係人口の創出・拡大へ向けたマッチングを図り、地域との関係性を高める取組を進めます。
- (3) 20地区が取組む地域資源を活用した魅力づくりや、地域課題解決に向けた活動など、定住者が暮らしやすい地域づくりを進め、移住者への魅力向上につなげていきます。
- (4) 移住者も定住者も安心して住み続けられるよう移住コンシェルジュ(移住案内人)などの育成・導入を推進します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)(4)	20地区田舎へ還ろう戦略支援事業	地域自治振興課	2,989	基本目標2小戦略③
		計	2,989	

③ みんなの力で活気ある中山間地域をつくる

- (1) 第2次中山間地域振興計画に基づく取組を、地域と行政の協働により進めます。
- (2) 近居・同居の住宅建築補助及び空き家の改修補助、空き家の跡地利用のための解体補助等により定住を促進します。
- (3) 起業人材を発掘・育成し、農村資源を活用した事業活動を支援します。
- (4) 地域おこし協力隊の活動により、地域主体の課題解決や地域振興の取組を支援します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)(4)	中山間地域振興事業	結いターン移住定住推進課	63,242	基本目標2小戦略③
(1)(2)(3)(4)	遠山郷振興事業	結いターン移住定住推進課	9,905	基本目標2小戦略③
(2)	総合的な空き家対策事業	結いターン移住定住推進課	17,779	基本目標2小戦略③
		計	90,926	

補足事項

1 飯田市過疎地域持続的発展計画の基本目標（令和3年度～令和7年度）

定住人口の目標		令和7年度 (R8.3.31)
上村・南信濃地区 の人口	推計	1,313人
	目標	1,350人以上

2 補足指標

指標	基準	進捗				目標
	R3(年度当初)	R3(年度末)	R4(年度末)	R5(年度末)	R6(年度末)	R7(年度末)
上村・南信濃地区 の人口	1,638	1,601				1,350

指標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
上村・南信濃地区 への移住世帯数	目標	2	2	2	2	2
	実績	10				



基本目標	10 個性を尊重し、多様な価値観を認め合い、活動の場を広げる
戦略 (考え方)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域の活力を生み出す市民活動が広く行われるよう、誰もがチャレンジができ、交流を通じて活動の輪が広がっていくことを目指します。 ◆ 国籍や性などの多様性を認め合い、共に支え合い、共に生きることで、誰一人取り残されない地域社会を目指します。 ◆ 女性や若者や外国人住民を含めた多様な市民が集い、交流し、活動の輪を広げるための拠点づくりを行います。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
① 市民活動・地域活動に参加している市民の割合(%)	62.7 (R1)	62.1 (R2)			66.0
② NPO法人数(団体)	60	59			64
③ ムトス事業助成支援件数(件:累計)	33	34			140 (R3~R6)
④ 審議会・委員会等への女性委員の比率(%)	29.1 (R1)	30.4 (R2)			30.0 (R4)
⑤ 住民自治活動組織(まちづくり委員会等)の女性委員の比率(%)	32.8	32.7			37.0
⑥ 市役所の係長相当の職責の女性比率(%)	33.3	34.0			39.0
⑦ 他地域(外国を含む)からの人を受け入れる市民の割合(%)	77.6 (R1)	79.4 (R2)			80.0
⑧ 新たな市民交流活動拠点の構築(か所)	-	-	1		1 (R4)

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① 市民活動の情報の収集・発信の拠点づくりと、市民活動への支援				
<p>(1) 市民活動やソーシャルビジネス等にチャレンジしたい市民の拠り所となるよう、ムトスぷらざを、人や情報と出会う拠点とし、相談対応や情報発信を強化します。</p> <p>(2) 想いをかたちにしていく人々に必要な支援を行い、活動の持続性や自立性を育みます。</p> <p>(3) 緩やかで新たな市民活動ネットワークづくりを進めるため、エシカル消費(人、社会、環境に配慮した消費)などのテーマをもった学習交流などを進め、多様な活動や人が交わる場づくりを行います。</p>				
小戦略(番号)	事務事業名	主管課	当初予算(千円)	備考
(1)(2)(3)	市民協働推進事業	共生・協働推進課	10,559	基本目標4小戦略①
(1)(2)(3)	人権・男女共同参画推進事業	共生・協働推進課	3,610	基本目標4小戦略① 基本目標6小戦略①③ 基本目標10小戦略②
(3)	消費生活センター事業	市民課	8,004	基本目標10小戦略②
		計	22,173	

② 一人ひとりの個性が輝き、自分らしく安心して暮らせる地域づくり

- (1) 性別による格差の無い社会づくりと、それぞれの個性に合わせた生き方や働き方ができる意識づくりを進めます。
- (2) 働き方改革を推進し、仕事や子育て、介護がしやすい環境づくりを進めます。
- (3) 男女共同参画推進コーディネーター等により、若者、女性、シニア世代等の活躍を支援し、多様な価値観による活動を互いに認め支え合う地域づくりを行います。
- (4) 性の多様性への理解を深める意識啓発や、新型コロナウイルス感染症に関する誹謗中傷をしないなどの人権啓発を行います。
- (5) 消費生活センターの継続的な運営を行い、関係機関等と連携し、消費者被害の予防啓発や相談対応を行うとともに、ライフステージ等に応じた消費者学習を推進します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	人権・男女共同参画推進事業	共生・協働推進課	3,610	基本目標4小戦略① 基本目標6小戦略①③ 基本目標10小戦略①
(3)(4)	平和学習・人権教育推進事業	生涯学習・スポーツ課	5,185	基本目標4小戦略①
(5)	消費生活センター事業	市民課	8,004	基本目標10小戦略①
		計	16,799	

③ 国籍や文化等の多様性を認め合い、外国人住民と共生する地域づくり

- (1) ムスぷらざを拠点として、飯田国際交流推進協会等と協働し、外国人住民の皆さんと気軽に日常的に交流ができる様々な事業を行い、相互理解から地域の多文化共生社会づくりを進めます。
- (2) やさしい日本語等を活用し、外国人住民が安心して日常生活が送れるように、地域の支援者とともに、日本語学習支援をはじめとした各種支援、外国人生徒のキャリア形成に必要な支援を行います。
- (3) 地域自治組織等と連携し、暮らしの中での外国人住民との共存や共生のあり方を検討します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	多文化共生社会推進事業	共生・協働推進課	7,921	基本目標4小戦略①
(2)	特別支援教育支援事業	学校教育課	102,494	基本目標3小戦略②
(1)	多様な学習交流支援事業	公民館	11,869	基本目標4小戦略①③④ 基本目標5小戦略① 基本目標11小戦略①
		計	122,284	



基本目標	11 地球環境への配慮が当たり前の暮らしとまちづくりの推進
戦略 (考え方)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「ゼロカーボンシティ」を目指し、二酸化炭素の排出を減らす生活や事業活動への転換を進めていくため、再生可能エネルギーの域産域消や、飯田市版ZEH(ゼロエネルギー住宅)の普及、グリーンリカバリー(緑の復興)による地域の成長をテーマにした共創の場づくりなどの取組を地域ぐるみで進めます。 ◆ 気候変動、生物多様性、廃棄物など身近に迫る環境問題への理解を深める環境学習を多様な世代で推進し、生活をより心豊かで環境にやさしいものにしていく実践の輪を広げます。 ◆ 「もったいない」を常に心がける意識を広め、3R(リデュース(減量)、リユース(再使用)、リサイクル(再資源化))の実践をすすめ、地球規模の課題である温暖化対策や海洋プラスチック、フードロスの削減に地域ぐるみで貢献します。 ◆ リニア駅周辺を暮らす人が住みやすく、誰もが訪れてみたい環境文化都市を感じられるモデル地域とするための取組を進めます。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
① 二酸化炭素排出量削減割合(%) [2005年比]	26.20 (H30)	32.5 (R1)	37.4 (R2)		35.2
② 市内の太陽光発電電力量が一般家庭の年間電力消費量に占める割合(%)	33.32 (R1)	35.72 (R2)	36.7 (R3)		46.41
③ 一人一日当たり排出ごみ量(g)	579.7 (R1)	593.2 (R2)	585 (R3)		552.3
④ ごみ分別アプリダウンロード数	2,318	3,503			5,000
⑤ 環境に関する学習会や知識を高めるような行事に参加している人の割合(%)	27.40 (R1)	17.6 (R2)	18.9 (R3)		35.0
⑥ 日常的に省エネや節電のための取組を実践している市民の割合(%)	80.9	75.5			88.0
⑦ エシカル消費を心がけている人数比率	57.9 (R3)	57.9			75.0

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① 環境問題を知り、学び、実践に移す
<p>幼稚園、保育園、学校、公民館、まちづくり委員会、市民活動団体等と連携し、多様な世代を対象に、エコパーク、ジオパークの活動、生物多様性、エシカル消費、廃棄物に係る事項等日常活動の見直しから地球規模までの環境問題をテーマにし、環境懇談会等の学び合う機会をつくります。</p> <p>(1) 自ら考え行動する仲間が集う「環境文化都市づくりプラットフォーム」を介して地域内連携を高め、環境文化都市実現に向けた取組を実践に移します。</p> <p>(2) ウェブサイト、SNS、広報誌、その他さまざまな媒体及び手段により、市民、事業者と環境文化都市実現のための実践情報を共有します。</p> <p>(3) 環境文化都市実現・ゼロカーボンシティ実現への歩みを確かなものとするために、「21'いいだ環境プラン」「飯田市地球温暖化対策実行計画」の改訂に着手します。</p>

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)(4)	環境教育推進事業	環境課	2,012	
(1)(2)(3)(4)	自然環境保全推進事業	環境課	1,091	
(1)(2)(3)(4)	環境保全一般経費	ゼロカーボンシティ推進課	7,219	
(1)(2)(3)(4)	多様な学習交流支援事業	公民館	11,869	基本目標4小戦略①③④ 基本目標5小戦略① 基本目標10小戦略③
		計	22,191	

② 家計や事業経営を助ける省エネ型への転換

- 啓発等を通じ、家庭のエネルギー消費の削減、企業のSDGsへの取組を意識した省エネルギー化を推進します。
- 太陽光発電を活用した電気自動車への転換など、レジリエンス(気候変動等による外的条件の変化への対応力)の向上とエネルギー活用の啓発を通じ、移動手段の脱炭素化を推進します。
- 地域の気候風土を生かし健康にもよい「飯田版ZEH(ゼロエネルギー住宅)仕様」をはじめとする建築物の省エネ対策を推進します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	省エネルギー推進事業	ゼロカーボンシティ推進課	8,378	
		計	8,378	

③ 地域産再生可能エネルギーの創出と活用

- 再生可能エネルギー資源を活用し地域産エネルギーを積極的に創出するとともに、それを地域内で消費する「エネルギーの域産域消」を推進します。
- 国から選定された脱炭素先行地域の実現に向けて、地域マイクログリッドの構築など、関係者との協議や制度設計を行い、着実に事業を遂行します。
- 将来の地域内エネルギー融通の可能性を視野に、環境共生住宅エリアの構築を推進します。
- 地域環境権条例を活用した地域と民間事業者の協働による事業を推進し、持続可能な地域経営を進める新たな事業スキームを検討します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)(4)	地域エネルギー普及事業	ゼロカーボンシティ推進課	67,412	基本目標13小戦略②
(1)(2)(3)	脱炭素先行地域構築事業	ゼロカーボンシティ推進課	275,332	
		計	342,744	

④ ごみの3R(減量・再使用・再資源化)を地域ぐるみで推進

- 3R推進に向け、多方面で様々な機会を捉えて意識啓発に取り組み、ごみを増やさないライフスタイルへの変換を促していきます。
製品プラスチックのリサイクルを行うほか、現在処分している廃棄物の中から再資源化可能な品目を選別
- し、収集・運搬・再資源化の実効性を検証し、リサイクル対象品目の拡大及びごみの減量に努めていきます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	3R推進事業	環境課	270,699	
(1)(2)	ごみ適正処理事業	環境課	308,830	
		計	579,529	



基本目標	12 災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る
戦略(考え方)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 市民が安全・安心に暮らせるまちを目指し、地域防災力の向上、地域で取り組む防災・減災のまちづくりなど、自助・共助を支援する環境整備に取り組みます。 ◆ 地域防災力の要である飯田市消防団の体制強化を図ります。 ◆ 暮らしを支える社会基盤の長寿命化と安全対策を図り強靱化を推進すると共に豪雨等の自然災害に対する備えを強化します。 ◆ 災害復旧や社会基盤の維持修繕を担う技能・技術者など担い手の育成支援及び技能・技術の伝承を意識した工事発注や研修体制構築に取り組みます。 ◆ 公共インフラの整備において、自然生態系に配慮した工法や緑化等のグリーンインフラの考え方を取り入れます。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
① 防災訓練に参加した市民の割合(%)	46.76	-	-		70
② 率先安全避難者登録者数(人)	-	9	75		100
③ 個別避難計画策定した人の割合(%)	-	-	-		50
④ 人身交通事故の発生件数(件)	217	165	175		150
⑤ 橋りょう長寿命化修繕完了数(橋)	5	15	41		84
⑥ 準用河川の危険箇所調査完了河川数(河川)	31	75	113		113
⑦ 避難所トイレ洋式化等の整備済割合(%)	-	-	-		100

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① 災害情報伝達手段の多様化と避難の実効性を高める				
<p>ハザードマップの更新や防災アプリ(仮称)『防災コンシェルジュ』の構築を機会として、身の回りのリスクを</p> <p>(1) 正しく理解するため、ダンボールジオラマなどの様々なツールを活用した検討会や学習会等を開催し、市民の防災・減災意識の向上を図ります。</p> <p>(2) 有事の際、避難行動要支援者が、地域の協力を得ながら安全に避難できるように個別避難計画の策定を進めます。</p> <p>(3) より迅速かつ確実に多様な媒体で災害情報が伝わるようにします。</p>				
小戦略(番号)	事務事業名	主管課	当初予算(千円)	備考
(1)(2)(3)	防災対策推進事業	危機管理課	58,187	基本目標12小戦略②
(1)(2)(3)	災害対策事業	危機管理課	22,272	基本目標12小戦略②
		計	80,459	

② 災害対策本部の機能強化を図り、より実践的な防災訓練の実施

- (1) 各災害対策班において、災害規模に応じた災害対応計画の策定と検証を進めます。
- (2) 受援計画及び地域防災計画のPDCAサイクルを着実に実施し、災害対応力向上に向けた取組を進めます。
- (3) 各地区が行う防災訓練において実践的な訓練への支援と、地区の防災力の向上のための資機材の充実を図る補助制度を継続します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	防災対策推進事業	危機管理課	58,187	基本目標12小戦略①
(1)(2)(3)	災害対策事業	危機管理課	22,272	基本目標12小戦略①
		計	80,459	

③ 飯田市第12次消防力(消防団)整備計画に基づく消防力の維持・向上

- (1) 消防力の3要素の1つである消防車両の計画的更新を行うとともに、消防団員の安全確保を第一に考え、活動中の危険を軽減させる安全装備品等の充実を図ります。
老朽化が進み機能自体が低下した詰所を、平常時は団員の教育・訓練・会議の実施場所として、また女性団員への配慮に加え、地域の若者が集う場として活用できるようにするほか、大規模災害時には地域防災拠点施設の機能を備えた詰所となるよう順次整備していきます。
- (2) 消防力・防災力の維持・向上を目指し、団員の負担軽減を考慮しながら実災害対応訓練を中心に短時間で実のある訓練を計画していきます。消防団員の処遇改善や各種専門資格の取得に対する助成等により消防団活動への魅力を高めていきます。消防団の団員確保に向けた取組を団員と協働で進めていきます。
- (3)

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	消防施設整備事業	危機管理課	117,791	
(1)(3)	非常備消防事業	危機管理課	198,234	
		計	316,025	

④ 通学路生活道路の安全確保と高齢者人身交通事故の抑止

- (1) 地区要望に対する整備のみでなく、民間保険会社から提供を受ける走行データ分析資料を活用し、緊急性及び危険性の高い箇所から重点的に安全施設整備を行うとともにその効果を検証します。
- (2) 運転免許自主返納の適切な説明を含めた交通安全教育や広報啓発を通して、高齢者関連事故を抑止します。
- (3) 季別の交通安全運動期間中の各種街頭啓発活動や年間を通じて行う交通安全教室など、交通安全意識高揚に資する活動を展開します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	交通安全施設整備事業	危機管理課	21,725	基本目標3小戦略⑧
(2)(3)	交通安全事業	危機管理課	4,246	
		計	25,971	

⑤ 災害時にも都市機能が維持でき、暮らしを支える社会基盤の戦略的強靱化

- (1) 市道(舗装、橋りょうを含む)、緊急避難場所となる都市公園等暮らしを支える社会基盤の長寿命化、安全対策を進めます。緊急避難場所となる都市公園等のトイレについて水洗化・洋式化を進めます。
- (2) 防災・安全対策が必要な道路については計画的に整備を進め、通学路については通学路安全対策アクションプログラム及び通学路合同点検の結果に基づき、安全対策を進めます。
- (3) 近年増加している集中豪雨による被害に対応するため、準用河川の危険個所調査に基づき、整備計画及び河川台帳の整備を進めます。
- (4) 重要なライフラインの一部である上下水道施設については、災害時の備えを含め長期建設改良計画に基づき更新を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	公衆便所事業	環境課	11,550	
(1)	公園整備事業	維持管理課	75,295	
(1)	体育施設等維持管理・整備事業	生涯学習・スポーツ課	598,211	基本目標5小戦略⑦
(1)(2)(3)	防災・安全対策事業	土木課	782,845	基本目標3小戦略⑧
(1)(2)	社会基盤維持管理事業	維持管理課	1,022,990	
(3)	潰地登記・道路台帳補正・河川台帳作成事業	維持管理課	65,107	
(4)	妙琴浄水場更新整備事業	水道課	339,922	
		計	2,895,920	



基本目標	13 リニア・三遠南信時代を支える都市基盤を整備する
戦略 (考え方)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ リニア・三遠南信時代を見据えた土地利用について、住民の合意形成を図りながら、全市的な視点で取り組みます。 ◆ 県内唯一のリニア中間駅として、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の整備効果を地域振興に活かすことができるよう、関係者の意向や環境影響等に十分配慮しながら、リニア駅周辺や座光寺スマートIC及び関連施設道路等の施設整備を進め、広域交通拠点の整備と広域的道路ネットワークの強化をはかります。 ◆ 目的地へスムーズに誘うことができ利便性も高いリニアの2次交通や持続可能な公共交通の構築を進めるとともに、この地域らしいスマートモビリティの実装に向け、AI(人口知能)やIoT(インターネットオブシングス)の技術の活用展開について研究します。 ◆ 市民や来訪者の利便性、安全や安心の向上等に資するデジタル化や先端技術活用の可能性を研究し、実装可能なことから実践します。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)

指標(単位) 把握方法	基準		進捗		目標
	R2	R3	R4	R5	R6
① リニア駅周辺整備の実施設設計進捗率(%)	25	50	50		100
② 座光寺SICの整備率(%)	69	71	80		88
③ 市内EVバスの導入台数(台)	1	1	1		2
④ 公共交通利用者数(人)	373,711	285,275	285,332		358,000
⑤ 新たな行政電子サービス	-	0	5		9

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① リニア・三遠南信時代を見据えた適正な土地利用の推進と良好な景観の育成				
<p>(1) リニア開通後の暮らしを視野に、適正な土地利用と良好な景観の育成に向けた制度や計画づくりに取り組みます。</p> <p>(2) 広域的な調整を図ってまとめた市の「リニアの開通効果を地域振興に活かすビジョン(案)」を具現化するため、全市的な視点でリニア・三遠南信時代を見据えた土地利用構想の検討を行います。</p> <p>(3) 土地利用基本方針に掲げる「拠点集約連携型都市構造の推進」と「山・里・街の豊かで多様な暮らしの実現」に向けて、各地区において地域土地利用方針の検討などに取り組みます。</p>				
小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	都市計画推進事業	地域計画課	28,738	
(1)(2)(3)	土地利用計画推進事業	地域計画課	271	
		計	29,009	

② リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の整備効果を地域振興に活かす広域交通拠点整備と広域道路ネットワークの強化

- (1) 市全体あるいは南信州地域全体の地域振興の観点から、各同盟会の活動等を通じ、引き続き三遠南信自動車道をはじめとする国道や県道の早期整備に向けた取り組みを推進します。また、広域的な基幹道路の整備効果をより高めるため、関連市道の整備を計画的に進めます。

- (2) リニア駅部区間の着工及びリニア駅周辺整備に向けた実施設計のとりまとめの状況を踏まえ、地権者・移転者や環境への影響等に配慮するとともに、積極的な情報発信により市民の関心を高めていきます。また、関連自治体の意向や、民間等多くのステークホルダーの考えやノウハウ等も反映・活用しながら、「交通・エネルギー」、「駅前空間整備」、「魅力発信」等の分野で具体的な機能の実装に向けた深度化をはかり、リニア駅やその周辺の整備を土木関係から建築関係へと計画的に進めます。加えて、リニア駅へのアクセス性向上に向けた県実施事業(座光寺上郷道路・県道市場桜町線・国道153号北改良等)と連携して、関連市道や座光寺SIC周辺道路整備を着実に進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	道路事業促進同盟会参画事業	国県関連事業課	4,155	
(1)	国県関連事業	国県関連事業課	232,200	
(1)	道路ネットワーク整備事業	土木課	432,956	
(2)	リニア駅周辺整備事業	リニア整備課	1,372,973	
(2)	代替地整備事業	リニア用地課	216,193	
(2)	リニア用地取得事業	リニア用地課	26,472	
(2)	リニア推進事業	リニア推進課	45,809	
(2)	地域エネルギー普及事業	ゼロカーボンシティ推進課	67,412	基本目標11小戦略③
(2)	リニア関連道路整備事業	国県関連事業課	116,004	
		計	2,514,174	

③ リニアの2次交通及び持続可能な地域公共交通の実現と、新しい技術を活用したスマートモビリティの実装

- (1) 都市圏へ向かうリニア利用者のリニア駅へのアクセス、あるいは都市圏から来訪するリニア利用者を各観光地等の様々な拠点へ誘うための交通手段、この2つの視点を踏まえて、利便性が高く、リニアの整備効果を最大限に享受することができるような2次交通の実現に取り組みます。

- (2) 住民の日常生活に欠かせない移動手段である地域公共交通の利便性の向上と利用者の増加に向け、現状の調査・分析とそれを踏まえた対応策の立案・実証等を行います。

- (3) リニア三遠南信道時代の2次交通について、これまで検討してきた拠点間の接続等の観点のみならず、拠点エリア内の回遊等の視点等も勘案して、自動運転等の技術を用いた新たなモビリティの実証実験等の具体的な研究をさら進めます。

- (4) 新たな交通システムが、需要創造等の産業振興策と連携したり、様々な地域課題の解決に資することができるよう、技術の進歩が目覚ましいモビリティの分野や環境・エネルギーの観点も踏まえつつ、電気自動車やMaaS、さらには自動運転等の導入について検討します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	交通体系整備事業	リニア推進課	176,537	
(1)(2)(3)(4)	リニア二次交通整備事業	リニア推進課	22,626	
		計	199,163	
補足事項				
④公共交通利用者数の目標値は、2020年から2025年の人口予測を踏まえ算出(国立社会保障・人口問題研究所 2018(平成30)年推計参照)				

④ 市民サービスを向上するデジタル化の推進				
(1)	行政手続きのオンライン化や、キャッシュレス決済の拡充、相談業務のオンライン化など行政事務のデジタル化を進め、市民サービスの向上を図ります。			
(2)	初心者向けスマートフォン講座やプログラミング教室などのデジタル体験の機会を創出し、地域のDXを推進するためのデジタル人材の育成に取り組みます。			
(3)	地域内外のDXに関連する様々な分野の事業者や団体等による情報交流の機会を創出し、地域のDX推進の機運醸成や、DX推進連携体制の構築に向けて取り組みます。			
(4)	誰もがデジタル技術を活用して地域課題の解決に取り組めるように、オープンデータの整備や、その活用方法の研究を進めます。			
小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	情報システム事業	デジタル推進課	326,422	
(1)	市税徴収事務	納税課	59,146	
(1)	美術博物館管理事業	美術博物館	174,608	基本目標4小戦略⑤
(2)(3)(4)	地域デジタル化推進事業	デジタル推進課	13,414	
		計	573,590	